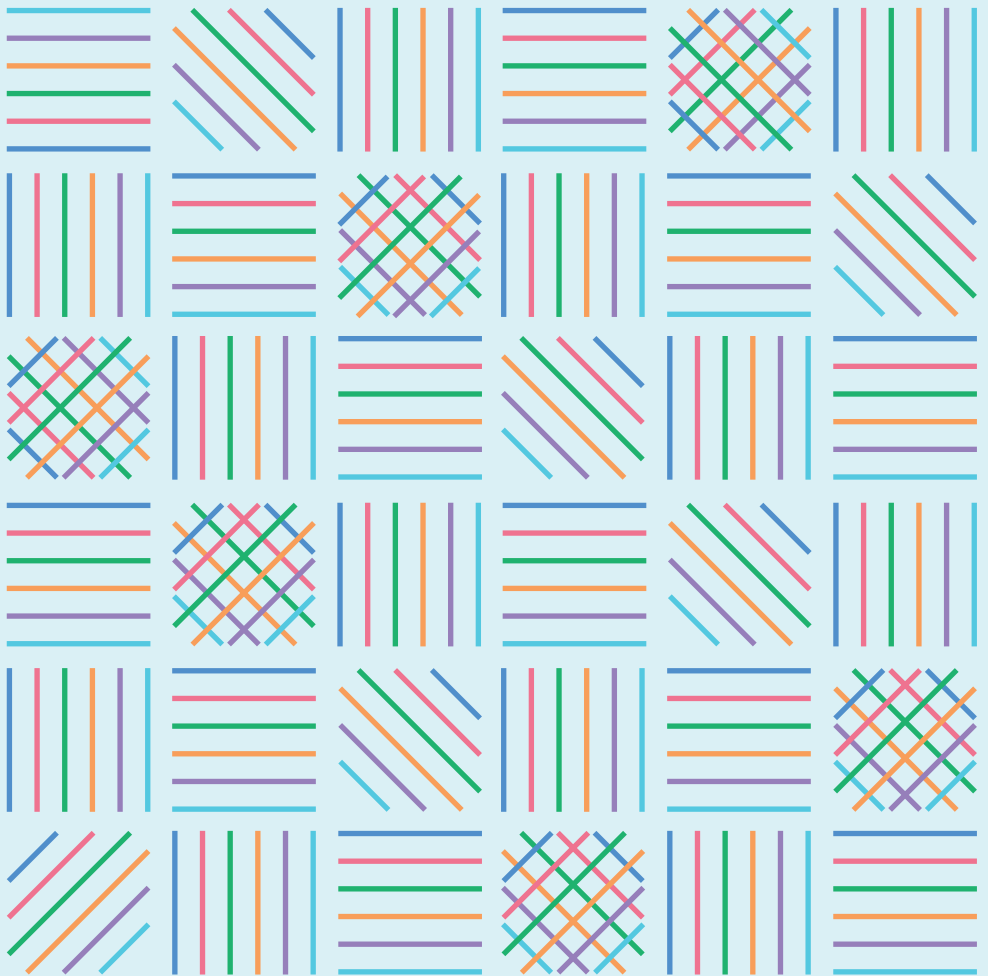


愛知県立大学

外国語学部ハンドブック



学部長あいさつ

外国語学部は、国立2大学、公立3大学、そして数十に及ぶ私立大学に置かれている(2023年3月現在)、日本では歴史ある学部の一つです。外国語学部の存立基盤は、多様な外国語を対象とする専門的な教育研究にあります。高度な外国語運用能力を有する職業人や教養人を送り出すことは、以前から変わらぬ外国語学部の基本的な教育目標です。また、各言語圏の文化・社会に対する深い理解を得るために、多くの学問分野に跨るリベラルアーツ的な接近法を採用することも、外国語学部の大きな特徴といえるでしょう。

世界の文化・社会の多様性を知り、異なる価値観の間を繋ぐには、英語はもちろんのこと、他の外国語を話せることが大きな意味をもちます。言語は、コミュニケーションの道具であると同時に、コミュニケーションの中身や背景を表すものでもあるからです。みなさんなら、何語を選びますか。

2023年度にスタートする外国語学部の新教育プログラムでは、ポルトガル語の専攻言語化により、学修の縦軸にあたる外国語教育の充実をはかることになりました。また同時に、横軸をなす学問的なアプローチの面では、学生による自由な専門性形成を支援する学部共通専門科目の仕組みを導入します。そして、公立大学では最も多くの専攻言語を有する本学外国語学部の強みをいかし、3～4年次の専門コースとして、複数の言語・言語圏の間に生起する課題について学ぶ多言語社会課程を設置します。

言語を切り口として、自由に自分の関心分野を深められることは、外国語学部の大きな特徴です。専門分野の細分化が顕著な現代にあって、自分の成長プロセスに重ねて学びを選択できる場所は、決して多くありません。世界の主要言語の多くが修得でき、人文・社会科学の幅広い知見に学びながら、自分の専門性を築くことができる。愛知県立大学外国語学部は、そうした自由な人づくりと啓発の場であらうと努力しています。

愛知県立大学外国語学部
学部長
竹中克行



目 次

愛知県立大学外国語学部 4つの特色	2
留学	4
<hr/>	
◆ 英米学科	8
[ヨーロッパ学科]	
◆ フランス語圏専攻	14
◆ スペイン語・ポルトガル語圏専攻	20
◆ ドイツ語圏専攻	26
◆ 中国学科	32
◆ 国際関係学科	38
<hr/>	
2023年度学部教育プログラム改革	43
多言語学習センター iCoToBa	44
大学院国際文化研究科	46
英語高度専門職業人コース	47
コミュニティ通訳学コース	48
ポルトガル語圏コース	49
<hr/>	
COLUMN	
他大学との学科・ゼミ単位の交流	19
外国語学部3・4年次専門コース	
多言語社会課程新設	25
日本語教員課程	31
取得できる教員免許	37
<hr/>	

本書掲載のすべての情報は、2023年4月1日現在のものです。変更が生じる場合がありますので、併せて愛知県立大学公式サイト (<https://www.aichi-pu.ac.jp>) 等をご参照下さい。

1

世界の主要言語をマスターする

本学の外国語学部は、英語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語（2023年度より）、ドイツ語、中国語の6言語を専攻外国語としています。世界の主要言語の多くについて、少人数クラスで高度な外国語運用能力を有する人材を育成していることは、本学部の大きな特徴です。

専攻言語にプラスした外国語学習の面では、充実した教養外国語教育が提供されます。英語を専攻する学生は英語以外の外国語、英語以外の言語を専攻する学生は原則として英語を教養教育で学びます。さらに2023年度入学者からは、学部の全学科・専攻の学生が選択できる専門教育の英語科目として、アカデミックな英語に重きを置いた学部共通英語科目が導入されます。これにより、英米学科・国際関係学科以外の学生も、教養英語を発展させて継続的に英語を学べるようになります。

2

外国語運用能力をいかして専門的に学ぶ

本学の外国語学部では、外国語運用能力の涵養と連動した専門教育の充実をはかっています。学生は、専攻外国語を学ぶだけでなく、多様な講義・演習科目を通じて、専攻する言語圏の文学・文化、地域・社会への理解を深めます。近年は、外国語を教授言語とし、外国語で学ぶ科目も増えてきています。

2023年度からは、学生が学問の基礎や方法をじっくり学び、自分の問題関心に照らして専門性を高められるよう、全学科・専攻に共通する学部共通専門科目を開設することになりました。教養教育を補完しつつ、言語研究、歴史・文化論、多言語・多文化社会、国際社会、市民社会・地域社会、アジア・新興国の6つの領域を深める学部共通専門科目は、各言語・言語圏の学びにとって理論的な支えとなることでしょう。また、国際関係学科の学生からみても、他学科・専攻の学生とともに学びの範囲を大きく広げる機会となります。

3

グローバル社会のなかに身を置く

本学の外国語学部では、学生の多くが在学中に留学を経験しています。3人に1人くらいが半年または1年の長期留学に挑戦し、夏休みなどを利用した短期留学を合わせれば、大部分の学生が在学中に海外生活を経験するといっただよいでしょう。本学は、約60もの海外大学との学術交流協定を締結していて、交換留学制度とともに、多様なショートプログラムを提供しています。

留学は、ふだんの学修で身につけたグローバルな感覚を磨き上げるための貴重な機会ですので、ぜひ挑戦してください。2020年春以来、コロナ禍の影響を受けて海外渡航を停止せざるをえない状況が続きました。しかし、2021年秋からの部分再開を経て、2023年度には、国際交流がほぼ平時の活力を取り戻すものと期待されます。オンラインツールもときに重宝しますが、異なる文化・社会を深く理解するには、やはり現地体験を通じた学びが一番です。

4

多言語が共存する社会への理解を深める

本学外国語学部では、2023年度入学者より、全学科・専攻の学生が選択できる3・4年次の専門コースとして、多言語社会課程を設置します。本学部では、国際政治経済や国際協力を通じた日本・愛知と世界の繋がりを学ぶアジア・新興国プログラムを開講し、学士課程を補完する特別プログラムとして運用してきました。それを土台に今後は、日本やアジアをはじめとする多言語社会の課題に焦点を当てた、学士課程の専門コースとして発展させます。課程履修学生は、学部共通専門科目で学問的な基礎を固めつつ、ワークショップ型の「多言語社会共通演習」や国内外のプログラムからなる「多言語社会フィールド実習」などの学びを通じて、応用力・実践力の獲得をめざします。

また、外国語学部を中心に運営している日本語教員課程では、日本語の教える方ももちろんのこと、地域の日本語教室での実習を通して、多言語・多文化状況で必要となるコミュニケーション能力を身につけます。

本学の外国語学部が推進している留学には、自由な選択と主体的な学びという大きな特徴があります。これは、あらかじめ用意されたパッケージから選択するのではなく、行き先や学び方についてよく考え、一人ひとりがつくり上げる留学を意味します。先輩や教員、留学支援室スタッフからアドバイスをもらって、ぜひ自分に合った留学ライフを見つけましょう。

本学は、約60もの海外協定大学を有し、交換留学や奨学金支給の機会を豊富に提供しています。2020大学ランキング（AERA ムック）によると、本学は、全国の公立大学の中で半年以上の留学を行った学生数が第2位の大学となっています。長期留学が難しい人は、数週間から1か月のショートプログラムに参加してもよいでしょう。

留学先の大学で合格した科目については、帰国後、本学で単位認定を申請することができます。外国語学部の留学制度では、留学先での学びを県大での学修を深める機会として活用することはもちろん、県大での専門とは異なった分野に挑戦することも可能です。学生のみなさんがそうした自由な空気なかで、主体的な学びを実現することを期待します。

外国語学部生の留学 fact sheet

対象期間	2018年度後期～2019年度前期	2021年度後期～2022年度前期(コロナ禍)
交換留学	64名	52名(5名)
派遣留学	10名	9名(2名)
認定留学	33名	2名
ショートプログラム	96名	12名(12名)
単位認定を受けた学生※	146名	56名(29名)

※対象期間中に単位認定を受けた学生数を示しており、留学期間は問わない。()内はオンライン留学



協定大学への留学

交換留学

※募集人数は変更する可能性があります。

プログラム言語	大学名	国・地域名	募集人数
英語圏	カリフォルニア大学チャンネル・アイランド校	アメリカ	1名
	ニューヨーク州立大学フレドニア校	アメリカ	2名
	セントラル・ランカシャー大学	イギリス	3名
	ニューカッスル大学	イギリス	3名
	ウーロンゴン大学	オーストラリア	2名
	メモリアル大学学部コース	カナダ	3名
	ゲント大学	ベルギー	2名
テイラーズ大学	マレーシア	2名	
仏語圏	ケベック大学モントリオール校	カナダ	2名
	トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校	フランス	2名
	リール大学	フランス	5名
	ロレーヌ大学	フランス	2名
	ブリュッセル自由大学	ベルギー	2名
西語圏	ア・コルーニャ大学	スペイン	2名
	アリカンテ大学	スペイン	1名
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	スペイン	2名
	セビリヤ大学	スペイン	4名
	CEU サン・パブロ大学	スペイン	2名
	グアダラハラ大学	メキシコ	4名
	プエブラ榮譽州立自治大学	メキシコ	2名
	メキシコ国立自治大学	メキシコ	2名
	ラス・アメリカス大学プエブラ校	メキシコ	2名
ペルー・カトリカ大学	ペルー	4名	
独語圏	ケルン大学	ドイツ	2名
	テュービンゲン大学	ドイツ	2名
	ライプツィヒ大学	ドイツ	2名
	リュウネブルク大学	ドイツ	2名

プログラム言語	大学名	国・地域名	募集人数
中国語圏	静宜大学	台湾	2名
	静宜大学(ダブル・ディグリー・プログラム)	台湾	1名
	東海大学	台湾	2名
	東呉大学	台湾	2名
	四川師範大学	中国	2名
ポルトガル語圏	サンパウロ大学	ブラジル	2名
	ミーニョ大学	ポルトガル	2名
韓国語圏	韓国外国語大学	韓国	2名
	清州大学	韓国	2名
ロシア語圏	シベリア連邦大学	ロシア	2名

■ 派遣留学

※募集人数は変更する可能性があります。

プログラム言語	大学名	国・地域名	募集人数
英語圏	アシュランド大学	アメリカ	若干名
	アリゾナ州立大学	アメリカ	若干名
	オッターベイン大学	アメリカ	若干名
	カリフォルニア大学チャンネル・アイランド校	アメリカ	若干名
	プレスビテリアン大学	アメリカ	若干名
	ウーロンゴン大学	オーストラリア	若干名
	スインバーン工科大学スインバーンカレッジ	オーストラリア	若干名
	ディーキン大学	オーストラリア	若干名
	メモリアル大学 ESLコース	カナダ	3名
仏語圏	リール大学	フランス	3名
西語圏	アリカンテ大学	スペイン	若干名
	ブンベウ・ファブラ大学	スペイン	若干名
中国語圏	南京師範大学	中国	若干名
インドネシア語圏	ガジャマダ大学	インドネシア	若干名

協定大学でのショートプログラム(例)

※年度によって募集プログラムは異なります。

大学名	国・地域名
ニューヨーク州立大学 フレドニア校	アメリカ
ポートランド州立大学	アメリカ
セントラル・ランカシャー大学	イギリス
オーストラリアン・カソリック大学	オーストラリア
ディーキン大学	オーストラリア
フランス政府留学局 (キャンパス・フランス)	フランス
サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	スペイン
ラス・アメリカス大学 プエブラ校	メキシコ
ミュンスター大学附属語学学校	ドイツ
華東師範大学	中国
ミーニョ大学	ポルトガル

静宜大学(台湾)とのダブル・ディグリー・プログラム

本学は、台湾の静宜大学との間で、ダブル・ディグリー協定を結んでいます。このプログラムを履修する県大生は、大学生活後半の2年間を静宜大学で過ごします。本学で修得した科目を静宜大学の科目、静宜大学で学んだ科目を本学の科目として認めてもらうことで、卒業時には、両大学の学士号（本学：外国研究学士、静宜大学：台湾文学学士）が授与されます。反対に、静宜大学から本ダブル・ディグリー・プログラムに参加する学生は、3～4年次を県大で学びます。

静宜大学とのダブル・ディグリー・プログラムを履修することができるのは、本学中国学科の学生と静宜大学人文社会科学部台湾文学学科の学生です。このようなダブル・ディグリー協定に代表されるように、本学部では、教育の国際通用性向上のための取組みを進めています。

英米学科

Department of British and American Studies



英米学科は、1966年の開設以来、実践的英語力を身につけた、英語圏の文化・社会に対する造詣の深い人材を育成し、多方面で活躍する卒業生を輩出してきました。現在もこの伝統を保ちつつ、高度情報化時代に対応できるよう、グローバル人材の育成に取り組んでいます。

現在、英米学科では、英米を中心とする英語圏の社会、政治、経済、歴史、文学、文化、英語やコミュニケーションのしくみ、および英語教育について、専門的かつ系統的に学ぶことが可能になっています。英語のタイトルのついた専攻言語科目は全て英語で授業が行われる他、研究各論を含めた講義科目も一部は英語で行われ、日本にいながらにして英語漬けの環境を体験できます。

2023年度からは、さらなる英語力の向上を目指す人材の育成のため、英語科目を中心にカリキュラムを変更します。これからは英会話力に加え、学びの成果を英語で発信する力をよりいっそう育てていきます。

また、EIC (English for Intercultural Communication) コースは一定の科目を履修し、語学要件などを満たした人に修了証が授与される特別プログラムへ変更します。異文化コミュニケーションのツールとしての英語力を磨き、英語力を将来に生かせる「尖った人材」の育成を応援します。

4年間で習得できること

- ✓ 専門的な内容にも対処できる、高度な英語力
- ✓ 英語圏の文化・社会に対する深い造詣
- ✓ 通訳、翻訳、ビジネス英語といった実践的英語力
(2020年度卒業生の TOEIC Listening & Reading Test の平均点は820点以上)



Communicative English



Grammar & Basic Writing



2010年度卒業
伊木ロドリゴさん
愛知県中学校勤務

県大でのすべての経験がわたしの人生を変えてくれました。空き時間に仲間と交わした熱い会話、オール英語で行われるディスカッションの授業、相談すれば真摯に向き合ってくださる先生方の存在、学習に最適な環境こそ県大を特別な学び舎としていると思います。大学は「遊ぶ場」ではなく、たくさんのお会いを通して、自分の視野を広げ、人として成長させてくれる場所だと私は思います。県大は最高の場所です。ただ、自分の大学生時代を最高のものにするかどうかは自分次第です。無駄にせず、最高の4年間にしてください。

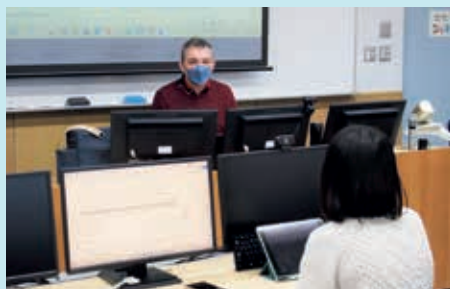


2016年度卒業
伊藤有希さん
CKD (株)

愛知県小牧市にある機械部品メーカーで、主に製品の輸出を担当しています。世界中から注文書を受け取り、伝票を発行し出荷、最後に輸出船積書類を作成して貨物とともに通関業者に引き渡すまでを管理しています。お客様の希望に添えるよう、輸出相手国の現地子会社のスタッフと英語でコミュニケーションを図りながら調整したり、海外からお客様が訪問されたときには自身の通訳技術を活用したりしています。外国語学部では言語力と幅広い教養を身につけることができました。私が貿易の仕組みを知ったのも、その一つです。日本国内だけではなく、他国との関係性など視点を変えて日本を見つめることができている。グローバル化が急速に進む中、まだ希望する職業が定まっていない人も、外国語学部であればどのような組織でも役立つ知識とスキルを身につけることができると思います。



Computer Assisted Language Learning (CALL)



Academic Writing

英米学科のカリキュラム

	英語を身につける		英語以外の外国語を身につける		幅広い知識や教養を身につける	
	専攻言語科目		教養教育科目	専門科目	教養教育科目	
1年	Communicative English I Academic English I English Phonetics Grammar & Basic Writing		外国語科目 I (以下から選択) ●フランス語 ●スペイン語 ●ドイツ語 ●中国語 ●ロシア語 ●ポルトガル語 ●韓国朝鮮語 ●日本語 (留学生対象)	教養外国語ショートプログラム	APU 教養コア科目 ●多文化社会への招待 【世界を理解する】 APU 教養連携科目 ●グローバル社会の諸問題 多文化理解 ●多文化社会とコミュニケーション ●Global Vision Talks ●言語コミュニケーションと多様性 ●Japan's Interactions with Other Cultures ●Japan Seen from Outside ●原語で読む名著	
	2年	Communicative English II Academic English II Academic Writing I Research & Presentation I Academic Writing I Intercultural Seminars in English (英語セミナー) 教科教育法 ●英語				English for Specific Purposes ビジネス英語 時事英語 科学技術英語 翻訳技法 通訳技法 I 通訳技法 II
3年		Academic English III Academic Writing II Research & Presentation II 教科教育法 ●英語	外国語セミナー	外国語科目 II (Iと同じ)	【ヨーロッパ諸語】 ●カタルーニャ語 ●イタリア語 ●オック語 ●アイスランド語 【アジア諸語】 ●インドネシア語 ●ベトナム語 ●タイ語 ●日本語 ●アラビア語 ●韓国朝鮮語	
	Academic Writing III Research & Presentation III	【APU 教養特別科目】 ●県大エッセンシャル ●教養留学修得科目 ●県大教養ゼミナール				
4年						



身につける	英語圏の文化・社会について専門的に学ぶ		専門分野の基礎的知識を身につけ、理解を深める	多言語社会の理論と動態を学ぶ	
目	英米学科専門科目		学部共通専門科目	多言語社会課程	
<ul style="list-style-type: none"> ● テラサイエンスへの招待 【科学と人間を深める】 APU 教養連携科目 ● いのちと防災の科学 自然科学 ● 教養のための科学 ● 現代物理学 ● 地球の科学 ● 生活の中の化学 ● 生命の科学 ● 環境の科学 人文科学 ● 哲学入門 ● 心理学入門 ● 文学入門 ● 芸術鑑賞入門 ● 芸術表現 (美術) ● 芸術表現 (音楽) 情報科学 ● 情報リテラシー ● メディア情報基礎 ● データサイエンスへの招待—実践編 スポーツ・健康科学 ● 生涯スポーツ論 ● 健康とからだの科学 ● 健康とこころの科学 ● 健康生活学 ● スポーツ実践演習 	<p>研究概論</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イギリスの社会 ● アメリカの社会 ● イギリスの文学・文化 ● アメリカの文学・文化 ● 英語学 	<p>基礎演習 I</p> <p>海外協定大学修得科目</p>	<p>学部共通基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 言語研究入門 ● 歴史学入門 ● 社会言語学入門 ● 比較文化研究入門 ● 社会科学入門 ● フィールド研究入門 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「学部共通基礎科目」から社会言語学入門を含む2科目4単位以上を修得 	
	<p>研究各論</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イギリスの歴史 ● イギリスの外交 ● 英連邦と国際社会 ● イギリスの社会・思想 ● イギリスの文化交流 ● アメリカの歴史 ● アメリカの政治・外交 ● アメリカの社会・経済 ● 英米特殊講義：社会 ● イギリスの文学・文化史 ● イギリスの文学・文化 ● アメリカの文学・文化史 ● アメリカの文学・文化 ● 英米の映画・視覚文化 ● 英語圏の文化批評 ● 英米特殊講義：文学・文化 ● 現代英語の諸相 ● 現代英語の特質 ● 英語の成立と変容 ● 英語学研究 I (コア) ● 英語学研究 II (発展) ● 英語教育 ● 英米特殊講義：英語学 ● Comparative Studies ● [Culture and Literature] ● Comparative Studies ● [Language] ● Comparative Studies ● [International Relations] 	<p>基礎演習 II</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イギリスの社会 ● アメリカの社会 ● イギリスの文学・文化 ● アメリカの文学・文化 ● 英語学・英語教育 <p>研究講読 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 英米の社会 ● 英米の文学・文化 ● 英語学・英語教育 <p>研究講読 II</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イギリスの社会 ● アメリカの社会 ● イギリスの文学・文化 ● アメリカの文学・文化 ● 英語学・英語教育 <p>研究演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イギリスの社会 ● アメリカの社会 ● イギリスの文学・文化 ● アメリカの文学・文化 ● 英語学・英語教育 	<p>学部共通研究各論</p> <p>【言語研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 言語学 ● 言語の種類 ● 音声学 ● 言語と音 ● 社会言語学 ● 歴史言語学 ● 比較言語学 ● 認知言語学 ● 日本語学 ● 現代日本語の諸問題 ● 日本語音声学 ● 日本語文法論 ● 現代日本語文法研究 <p>【国際社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国際法 I・II ● 国際政治学 ● 国際協力 ● 比較政治・政治史 ● 南北アメリカ国際関係 <p>【アジア・新興国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アジア・新興国論 ● 日本経済と新興国 ● ロシア研究 ● アフリカ研究 ● 東南アジア社会研究 ● アジア文化研究 ● アジア政治経済研究 ● 中東・イスラーム圏研究 	<p>【多言語・多文化社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移民と文化接触 ● 民族問題 ● 多言語社会研究 I・II ● 異文化コミュニケーション ● 共生社会とコミュニケーション実践 ● 日本語コースデザイン論 ● 日本語学習支援とメディアリテラシー ● 日本語教育学概論 ● 共生のための日本語教育学 ● 共生社会と教育 ● 多文化社会論 <p>【市民社会・地域社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティ通訳論 ● 地域と国家 ● 現代民主主義論 ● メディアと人権 ● ジェンダー論 ● 都市・地域再生論 ● NPO・NGO 論 ● 地域社会論 <p>【歴史・文化論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 文学・批評 ● 映像文化・演劇 ● 科学技術史 ● 思想史 ● 宗教学 ● コロニアリズム文化史 ● ヨーロッパ中世・近世史 ● モノ・人の動きからみた世界史 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「学部共通研究各論」から6科目12単位以上を修得 ■ 「学部共通英語科目」「関連言語科目」から4単位以上を修得 (諸地域言語科目の2単位を含む) <p>多言語社会課程科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多言語社会共通演習 ● 多言語社会特殊演習 ● 多言語社会フィールド実習
		卒業論文			

英米学科の専任教員

氏名	専門分野
青木耕平 <i>AOKI, Kobei</i>	現代アメリカ文学・文化。とりわけ1989年ベルリンの壁崩壊から2001年の同時多発テロに至るまでのポスト冷戦期／1990年代の文学・文化を主に研究している。
阿南東也 <i>ANAMI, Haruya</i>	政治学、政治過程論、アメリカ政治外交。現在のアメリカの国内政治と外交政策過程。911テロ事件後世界の中でのアメリカの位置づけ。国内世論動向、選挙分析。大統領制の変化。
池田 周 <i>IKEDA, Chika</i>	英語教育学、応用言語学。特にリーディング指導、および第二言語、外国語としての英語リテラシー（読み書き技能）の発達、小学校英語教育において初期リテラシーを効果的に指導する方法に関心をもつ。
石原 覚 <i>ISHIHARA, Satoru</i>	中世のイギリスのことば、特に紀元1100年ころまでの英語——古英語（Old English）と呼ばれる——を研究対象とする。具体的には、聖書のことばがどのように古英語で言い表されているかに関心を持つ。
榎本 洋 <i>ENOMOTO, Hiroshi</i>	ヴィクトリア朝の小説家ディケンズをディック・ウィットントンなどの民間伝承を軸に、主人公の財産継承と世俗的成功の物語を研究。功利主義と経済的イデオロギー、出版事情（都市のスケッチ文学など）、家庭小説の形成と崩壊等の問題も含む。
奥田泰広 <i>OKUDA, Yasuhiro</i>	イギリス政治・外交・現代史（とくに安全保障論やインテリジェンス問題）を専門とする。近年はチャーチルやサッチャーに関する政治的リーダーシップ論に着目している。
小倉悠輝 <i>OGURA, Yuki</i>	20世紀のアメリカ詩（特にモダニズム詩）を専門にしているが、時代は問わず、広く「抒情詩」というジャンルの概念を取り巻く制度的な条件、知的状況、方法論、文化史の変遷等に関心を持っている。
梶原克教 <i>KAJIHARA, Katsunori</i>	現代の英語圏文学・文化、映画や音楽などの視聴覚文化。アイルランドやカリブといったポストコロニアル文化と、その環大西洋的な流れ。
菊池好行 <i>KIKUCHI, Yoshiyuki</i>	19世紀後半から20世紀前半までの日英交流史、特にこの時期に両国を頻繁に行き来した科学者・技術者が文化交流に果たした役割について研究している。またその背景として近代イギリス科学の社会史にも関心を持っている。
熊谷吉治 <i>KUMAGAI, Yoshitaru</i>	英語学（①英語コミュニケーションにおいて、新しい情報は文のどの位置に現れ、どのように発音されるのか、②英語の単語にはどのような音象徴性が見られるか）。
佐藤雅哉 <i>SATO, Masaya</i>	アメリカ現代史。特に、1970年代以降のアメリカ政治文化、トランスナショナルな社会運動史（平和運動、国際フェミニズム、人権運動等）、アメリカ中東関係などについて研究している。

氏名	専門分野
瀧内 陽 <i>TAKUCHI, Haru</i>	20世紀後半のイギリス児童文学、特に労働者階級や黒人・アジア系の児童文学を中心に研究している。
日尾野 裕一 <i>HIONO, Yuichi</i>	近世・近代のイギリスの歴史。特にイギリス大西洋世界における資源確保をめぐる議論、海軍行政部門の活動、北米入植計画の形成などを研究している。
久田由佳子 <i>HISADA, Yukako</i>	18世紀末から19世紀前半のアメリカの歴史（アメリカ独立革命と南北戦争の間に挟まれた時代の研究）。とくに女性や子どもを含む、普通の人々の生活や労働、奴隷制廃止運動など。
ブルノティ ジョシュ <i>BRUNOTTE, Josh</i>	英語教育学、第二言語習得、社会心理学。特に、言語学習に関する不安、外国語でプレゼンテーションを行う際の不安（パブリックスピーキング不安）などの原因や、外国語言語学習に関する不安を効果的に軽減する方法（疑似体験療法、VRのようなテクノロジーを使う方法など）に関心を持つ。
三原 穂 <i>MIHARA, Minoru</i>	専門は、18世紀の英文学であるが、シェイクスピアからロマン派の詩人までを守備範囲としている。
水谷謙太 <i>MIZUTANI, Kenta</i>	英語学（形式意味論）。様々な文の意味が、その文に含まれる単語の意味とその組み合わせ方からどのように導き出されるかについて研究している。
森田久司 <i>MORITA, Hisashi</i>	知能・国籍・民族・性別等に関わらず、誰でも比較的短期間でことばを獲得できるのは、生まれながらにして文法を持っているから!? それはどのような文法なのかを研究。
ヘイスティングス クリストファー ロバート <i>HASTINGS, Christopher Robert</i>	応用言語学、特に、コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング、第二言語習得、コンピュータを使った語学学習などを研究している。
マギー グレン アモン <i>MAGEE, Glenn Amon</i>	応用言語学、英語教育学。良い学びには、健全な人間関係が欠かせません。ポジティブ心理学（思考と行動の研究）、教育心理学（思考と行動の研究）、学習とモチベーションの神経科学（脳の研究）のすべてが私の仕事に生かされています。
松井 ヘイ アブリル <i>MATSUI, Haya Avril</i>	学習者の言語学習アイデンティティにおける人種とジェンダーの交差性、および英語教育者の専門的アイデンティティの発達を中心に研究している。また、日本やイギリスの文化的多様性や英語学習の多様性も研究テーマとしている。
ウォルシュ ナイアル <i>WALSH, Niall</i>	応用言語学、特に自律学習、言語学習における教材開発、第二言語教育における小説、プレゼンテーション能力、第二言語学習における「書く」ことへの役割。



フランスは、中世以来、ヨーロッパの文化・文明の中心の一つです。現在も、ドイツと共にEUを牽引しながら、世界第5位の経済大国として、国際社会の発展に寄与し続けています。そしてフランス語は、フランス本国だけでなく、ベルギー、スイス、カナダ、アフリカ諸国等の公用語であり、国連を始めとする多くの国際機関や、ファッション、スポーツ等の多彩な分野で、共通語として用いられています。特に、今後の世界で政治的・経済的に最も重要な存在になるであろうアフリカ諸国においては、実は英語以上に、広く用いられている言語なのです。フランスと日本の関係を目を転じれば、2020年のフランスによる対日直接投資額は、英国、米国、スイス、シンガポール、中国に次いで第5位を占めています。他方、フランスに進出している日本企業の拠点数は738と、ヨーロッパ諸国ではドイツ(1,896)、英国(957)に次ぐ多さで、特に愛知県内の企業は41社が57拠点をフランスに設置しているのです。

フランス語圏専攻では、少人数クラスでフランス語のエキスパートを目指します。同時に、専門的にフランス語圏の文化・社会を学び、国際的な舞台で活躍し、かつ地域社会にも貢献する、「真のグローバル人材」を養成します。

4年間で習得できること

- ✓ フランス語の高度な運用能力
(卒業時の到達目標 実用フランス語技能検定試験 準1級以上)
- ✓ フランス文化・社会についての深い理解
- ✓ アフリカ等の他のフランス語圏に関する知識





2012年度卒業
加藤健太郎さん
 Washington CORE LLC

県大でフランス語を学んだあと、ベルギーの大学院で修士号を取得し、現在はワシントン DC のコンサルティングファームで働いています。海外に出るきっかけとなったのは県大在学中のフランス留学でした。フランスでの生活と様々な国籍のクラスメイトとの交流はとても貴重な経験になりました。英語が話せることが常識となつつある今日、英語に加えてもうひとつ外国語を話せることはとても大きなアドバンテージとなることを、アメリカで働くなかで日々感じています。私はフランス語を選び、海外を知ることができて良かったと、心から思います。



2017年度卒業
森 智水さん
 県立岡崎高等学校
 英語科教員

外国語を通して世界を知り、他者を知ることの喜びを生徒たちに伝えたいという想いを常に持ちながら、現在は英語教員として教壇に立っています。県大で学んだフランス語圏の知識やカナダのケベック州最大都市モントリオールでの留学経験が自身の視野を広げてくれました。生徒が英語以外の言語や海外に興味を持ってくれること、卒業してから大学で外国語を学び活躍してくれている教え子の話が聞けることは私の最大の喜びとなっています。大学の授業で読んだサン＝テグジュペリの『星の王子様』の一節である Tu deviens responsable pour toujours de ce que tu as apprivoisé. という言葉を胸に毎日生徒に向き合っています。



フランス語圏専攻のカリキュラム

	フランス語を身につける		フランス語以外の外国語を身につける		幅広い知識や教養を	
	専攻言語科目		教養教育科目	専門科目	教養教育科目	
1年	フランス語 I ●基礎 ●文法 ●応用 ●会話		外国語科目 I (以下から選択) ●英語 ●スペイン語 ●ドイツ語 ●中国語 ●ロシア語 ●ポルトガル語 ●韓国朝鮮語 ●日本語 (留学生対象)	教養外国語ショートプログラム	APU 教養コア科目 ●多文化社会への招待 【世界を理解する】 APU 教養連携科目 ●グローバル社会の諸問題 多文化理解 ●多文化社会とコミュニケーション ●Global Vision Talks ●言語コミュニケーションと多様性 ●Japan's Interactions with Other Cultures ●Japan Seen from Outside ●原語で読む名著	
	フランス語 II ●作文 ●文法 ●応用 ●会話	基礎講読 ●フランス語圏文化 ●フランス語圏社会 フランス語セミナー	外国語科目 II (英語を除き I と同じ) ●Intercultural Seminars in English (英語セミナー)		学部共通英語科目 ●Advanced Seminars in English A (2~4年生) ●Advanced Seminars in English B (3~4年生) 関連言語科目 ●古典語 ●ラテン語 ●ギリシア語 ●漢文 ●諸地域言語 (年度毎に変更) 【ヨーロッパ諸語】 ●カタルーニャ語 ●イタリア語 ●オック語 ●アイスランド語 【アジア諸語】 ●インドネシア語 ●ベトナム語 ●タイ語 ●日本手話 ●アラビア語 ●韓国朝鮮語	【地域を掘り下げる】 APU 教養連携科目 ●エアスタディーズ総論 愛知・日本 ●フィールドで学ぶ社会 ●愛知の文化遺産 ●愛知の産業 ●東海地方と日本文学 ●日本の歴史と文化 諸地域研究 ●アジアの歴史と文化 ●ヨーロッパの歴史と文化 ●北アメリカの歴史と文化 ●中南米の歴史と文化 ●アフリカの歴史と文化
3年	フランス語 III ●会話 ●作文	上級フランス語 ●時事 ●翻訳・通訳 上級講読 ●フランス語圏 歴史・社会 ●フランス語圏 政治・経済 ●フランス語学 ●フランス語圏 文学・文化 教科教育法 ●フランス語	外国語セミナー			【社会に生きる】 APU 教養連携科目 ●ものづくりの現状と課題 キャリア・プランニング ●地域社会とキャリア構想 ●キャリア実践 ●日本語表現法 ●インターンシップ実践 ●キャリア展望—生き抜く力—
	フランス語 IV ●会話 ●作文					【APU 教養特別科目】 ●県大エッセンシャル ●教養留学修得科目 ●県大教養ゼミナール
4年						



身につける	フランス語圏の文化・社会について専門的に学ぶ	専門分野の基礎的知識を身につけ、理解を深める	多言語社会の理論と動態を学ぶ	
目	フランス語圏専攻専門科目	学部共通専門科目	多言語社会課程	
<ul style="list-style-type: none"> データサイエンスへの招待 <p>【科学と人間を深める】 APU 教養連携科目</p> <ul style="list-style-type: none"> いのちと防災の科学 <p>自然科学</p> <ul style="list-style-type: none"> 教養のための科学 現代物理学 地球の科学 生活の中の化学 生命の科学 環境の科学 <p>人文科学</p> <ul style="list-style-type: none"> 哲学入門 心理学入門 文学入門 芸術鑑賞入門 芸術表現（美術） 芸術表現（音楽） <p>情報科学</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報リテラシー メディア情報基礎 データサイエンスへの招待—実践編 <p>スポーツ・健康科学</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツ論 健康とからだの科学 健康とこころの科学 健康生活学 スポーツ実践演習 	<p>研究概論</p> <ul style="list-style-type: none"> フランス語圏文学・文化 フランス語圏社会 フランス語学 	<p>学部共通基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語学入門 歴史学入門 社会言語学入門 比較文化研究入門 社会科学入門 フィールド研究入門 	<ul style="list-style-type: none"> 【学部共通基礎科目】から社会言語学入門を含む2科目4単位以上を修得 	
	<p>研究各論</p> <ul style="list-style-type: none"> フランス語圏歴史・社会 フランス語圏政治・経済 フランス語学 フランス語圏文学・文化 フランス語圏特殊講義 	<p>学部共通研究各論</p> <p>【言語研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語学 言語の類型 音声学 言語と音 社会言語学 歴史言語学 比較言語学 認知言語学 現代英語の特質 日本語学 現代日本語の諸問題 日本語音声学 日本語文法論 現代日本語文法研究 <p>【国際社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際法Ⅰ・Ⅱ 国際政治学 国際協力 比較政治・政治史 英連邦と国際社会 南北アメリカ国際関係 <p>【アジア・新興国】</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア・新興国論 日本経済と新興国 ロシア研究 アフリカ研究 東南アジア社会研究 アジア文化研究 アジア政治経済研究 中東・イスラーム圏研究 	<p>【多言語・多文化社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移民と文化接触 民族問題 多言語社会研究Ⅰ・Ⅱ 異文化コミュニケーション 共生社会とコミュニケーション実践 日本語コースデザイン論 日本語学習支援とメディアリテラシー 日本語教育学概論 共生のための日本語教育学 共生社会と教育 多文化社会論 <p>【市民社会・地域社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ通訳論 地域と国家 現代民主主義論 メディアと人権 ジェンダー論 都市・地域再生論 NPO・NGO論 地域社会論 <p>【歴史・文化論】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文学・批評 映像文化・演劇 科学技術史 思想史 宗教学 コロナリズム文化史 ヨーロッパ中世・近世史 モノ・人の動きからみた世界史 	<ul style="list-style-type: none"> 【学部共通研究各論】から6科目12単位以上を修得 【学部共通英語科目】「関連言語科目」から4単位以上を修得（諸地域言語科目の2単位を含む） <p>多言語社会課程科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 多言語社会共通演習 多言語社会特殊演習 多言語社会フィールド実習
		<p>卒業論文</p>		

フランス語圏専攻の専任教員

氏名	専門分野
伊藤滋夫 <i>ITO, Shigeo</i>	17-18世紀のフランスの歴史。「絶対王政」期の行政・財政金融制度、公債制度。財務官僚や金融業者、金利生活者の社会史的研究。道路・運河建設などの公共事業の歴史。南仏ラングドック地方、都市モンペリエの歴史。
岸本聖子 <i>KISHIMOTO, Seiko</i>	フランス語学（フランス語がどのように事柄を表しているのかを、人間が普遍的にもつ認知能力と関連づけて紐解く）。 フランス語教育（評価、学習者中心教育）。
佐野直子 <i>SANO, Naoko</i>	社会言語学、ヨーロッパ多言語社会研究、フランスの言語社会史。 主に南フランスで話されている（いた）少数言語オクシタン語の復興運動についての研究。
白谷 望 <i>SHIRATANI, Nozomi</i>	アラブ世界の政治や社会とイスラームの関係。 モロッコを中心とした北アフリカ諸国の政治・経済。
中田晋自 <i>NAKATA, Shinji</i>	フランス都市政治の研究。フランスの「近隣民主主義」をキーワードとして、都市自治体における居住者を主体とした熟議と参加の民主主義について、その実現可能性を探究。
長沼圭一 <i>NAGANUMA, Keiichi</i>	フランス語の文法・言語学。現代フランス語における冠詞（定冠詞・不定冠詞・無冠詞）の使い分けによる意味解釈の違い。 フランス語と他言語とのさまざまな言語現象についての比較。
原 潮巳 <i>HARA, Shiomi</i>	19世紀末のフランスの様々な文化現象（文学、美術、音楽、ファッション等）。 フランス本国以外のフランス語圏の文学・文化。 日本文化の受容「ジャポニスム」関連。
野内美子 <i>YANAI, Haruko</i>	フランスに焦点を据えた EU 経済研究。 EU 統合の発展に伴うフランスの経済政策の変化、EU におけるフランスの政治経済的役割、ユーロや EU 財政問題など。
モルガン・ダレン <i>DALIN, Morgan</i>	Bonjour! 多言語異文化コミュニケーションが専門です。これからの時代、いろんな国籍や文化を持つ人と接する機会が増えるでしょう。フランス語は世界で29ヶ国の公用語です。一緒にフランス語を始めてみませんか？
フランク・モラル <i>MOLLARD, Franck</i>	Bonjour(こんにちは)! 外国語としてのフランス語教授法が専門です。 外国語でコミュニケーションをとることは異なる文化を知り、世界を違った角度から見る良い機会です。一緒にフランス語を話しましょう！

他大学との学科・ゼミ単位の交流

外国語学部では、類似する専門を有する近隣他大学と連携して、合同の研究発表会や合宿を実施している学科やゼミがあります。そのうちのいくつかを紹介します。

英米学科では、南山大学外国語学部英米学科との合同により、発表・質疑応答のすべてを英語で行う卒業論文発表会“Joint Theses Presentation”を開催しています。2021年度からはオンライン開催となり、2022年度は、本学科の4年生19名が報告しました。

フランス語圏専攻の中田晋自教員のゼミは、主にヨーロッパ政治を研究している全国の大学ゼミの学生が集う「合同ゼミ合宿」（2015年以来、毎年9月に開催）に参加しています。

スペイン語圏専攻の小池康弘教員のゼミは、愛知県内6大学および県外4大学で連携し、国際関係・国際政治を研究するゼミが集まって研究発表を行う、「名古屋国際関係合同ゼミナール」に1993年から参加しています。

西洋史などを専門とする教員のゼミは、名古屋大学、名古屋市立大学、南山大学と連携して、「インターゼミナール」の活動を行っています。2022年度は、南山大学で対面開催となり、総勢68名の学生が研究発表しました。愛知県立大学からは44名の学生と7名の教員が参加しました。

スペイン語・ポルトガル語圏専攻

ヨーロッパ学科



Sección de Estudios Iberoamericanos ● Seção de Estudos Ibero-americanos
Departamento de Estudios Europeos

2023年4月、従来の「スペイン語圏専攻」が「スペイン語・ポルトガル語圏専攻」に改編されました。専門言語科目はスペイン語圏とポルトガル語圏の2コースに分かれて学びますが、それ以外の多くの科目は専攻学生と一緒に学びます。実践的なスペイン語力・ポルトガル語力および両言語圏に関する専門知識を修得し、ビジネス・行政・教育などの分野でグローバルに活躍し、地域社会と国際社会を結ぶことができる人材の育成を目指します。

スペイン語とポルトガル語は言語的に近似性があり、歴史的文化的にも密接な関係にあります。現在、両言語はヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジアの合計30の国・地域で公用語とされ、その人口はスペイン語圏約5億人、ポルトガル語圏約2.5億人です。さらに米国内のヒスパニック人口（中南米系移民とその子孫）は6200万人以上に上ります。日本国内でも約28万人のスペイン語・ポルトガル語圏出身者が暮らしており（うちブラジル人が21万人）、なかでも愛知県は両言語圏の出身者が全国で最も多い県です。

このようにスペイン語とポルトガル語の重要性は国際社会だけでなく地域社会でも高まっており、こうしたニーズに対応できるように両言語圏に関する幅広い知識を専門的に学べるのが本専攻の最大の特長です。皆さんの世界を一層広げてみませんか。

4年間で習得できること

- ✓ 実践的な場で使えるスペイン語・ポルトガル語
- ✓ イベリア半島、ラテンアメリカに関する深い理解
- ✓ 日本を含め世界のスペイン語・ポルトガル語コミュニティに関する専門知識





2017年度卒業
笠原裕也さん
 (株)オービック

私はスペインのブンペウ・ファブラ大学に約1年間留学していました。スペインではどの授業でも「参加」が求められ、自分の意見を発信する必要があります。最初は間違えることが怖く、なかなか考えを声に出すことはできませんでしたが、徐々に習慣づき積極的に授業に参加することができました。自分の意見を持つということが重要であり、正解か不正解かは関係ないということに気づかされました。社会でも同様なことが求められますが、スペイン留学での経験が私を支えてくれています。こんな経験の場を与えてくれた県大スペ科に感謝しています。



2018年度卒業
佐々木レチシアさん
 パナソニック株式会社

私はパナソニック株式会社のBtoB事業で、海外営業の仕事をしています。毎日英語でのオンライン会議やメールをし、海外出張も多いです。愛知県立大学ではスペイン語に加え、ゼミで政治・経済も学びましたが、現在の仕事は米中貿易摩擦などの世界情勢の影響を大きく受ける市場で、ゼミでの研究で得た知識・経験が活きていると感じています。また在学中にはブラジル留学もさせてもらい、現地でボランティアなどの様々な経験をさせていただきました。語学以外にもこうした知識・経験の「引き出し」を増やすこと、また海外インターンシップのように「言語を学ぶ」だけでなく「言語を活用して何かをやる」経験が、社会に出てからも大きな強みになると思います！



短期留学



メキシコでのインターンシップの様子

スペイン語・ポルトガル語圏専攻のカリキュラム

	スペイン語・ポルトガル語を身につける		スペイン語・ポルトガル語以外の外国語を身につける		幅広い知識や教養を
	専攻言語科目		教養教育科目	専門科目	教養教育科目
	スペイン語圏コース	ポルトガル語圏コース			
1年	<ul style="list-style-type: none"> ●総合 ●会話・作文Ⅰ スペイン語実践Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ●会話・作文Ⅰ ●語彙トレーニング ●発音・聴解 ●文法Ⅰ 	外国語科目Ⅰ (以下から選択) <ul style="list-style-type: none"> ●英語 ●フランス語 ●スペイン語 (ポルトガル語圏コースのみ) ●ドイツ語 ●中国語 ●ロシア語 ●ポルトガル語 (スペイン語圏コースのみ) ●韓国朝鮮語 ●日本語 (留学生対象) 	教養外国語ショートプログラム	APU 教養コア科目 <ul style="list-style-type: none"> ●多文化社会への招待 【世界を理解する】 APU 教養連携科目 <ul style="list-style-type: none"> ●グローバル社会の諸問題 多文化理解 <ul style="list-style-type: none"> ●多文化社会とコミュニケーション ●Global Vision Talks ●言語コミュニケーションと多様性 ●Japan's Interactions with Other Cultures ●Japan Seen from Outside ●原語で読む名著
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ●文法 ●講読 ●会話・作文Ⅱ スペイン語実践Ⅱ スペイン語セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ●会話・作文Ⅱ ●文法Ⅱ ●読解 (コミュニティ) ポルトガル語セミナー		外国語科目Ⅱ (英語を除きⅠと同じ) <ul style="list-style-type: none"> ●Intercultural Seminars in English (英語セミナー)
3年	<ul style="list-style-type: none"> ●文献読解 専門分野スペイン語 <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティ ●時事・ビジネス 教科教育法 <ul style="list-style-type: none"> ●スペイン語 	<ul style="list-style-type: none"> ●読解 (グローバルイシュー) ●実践 (リサーチ・発信プロジェクト) 	外国語セミナー		【社会に生きる】 APU 教養連携科目 <ul style="list-style-type: none"> ●ものづくりの現状と課題 キャリア・プランニング <ul style="list-style-type: none"> ●地域社会とキャリア構想 ●キャリア実践 ●日本語表現法 ●インターンシップ実践 ●キャリア展望一生き抜くカー
	4年	<ul style="list-style-type: none"> ●学術作文 ●アカデミックプレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ●アカデミックライティング ●アカデミックプレゼンテーション 		

身につける	スペイン語・ポルトガル語圏の文化・社会について専門的に学ぶ		専門分野の基礎的知識を身につけ、理解を深める	多言語社会の理論と動態を学ぶ
目	スペイン語・ポルトガル語圏専攻専門科目		学部共通専門科目	多言語社会課程
<ul style="list-style-type: none"> ● データサイエンスへの招待 【科学と人間を深める】 APU 教養連携科目 ● いのちと防災の科学 自然科学 ● 教養のための科学 ● 現代物理学 ● 地球の科学 ● 生活の中の化学 ● 生命の科学 ● 環境の科学 人文科学 ● 哲学入門 ● 心理学入門 ● 文学入門 ● 芸術鑑賞入門 ● 芸術表現（美術） ● 芸術表現（音楽） 情報科学 ● 情報リテラシー ● メディア情報基礎 ● データサイエンスへの招待—実践編 スポーツ・健康科学 ● 生涯スポーツ論 ● 健康とからだの科学 ● 健康とこころの科学 ● 健康生活学 ● スポーツ実践演習 	<p>地域研究概論</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イベリア半島 ● ラテンアメリカ ● ポルトガル語圏 	<p>基礎演習 I</p>	<p>学部共通基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 言語研究入門 ● 歴史学入門 ● 社会言語学入門 ● 比較文化研究入門 ● 社会科学入門 ● フィールド研究入門 	<p>■ 「学部共通基礎科目」から社会言語学入門を含む2科目4単位以上を修得</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 哲学入門 ● 心理学入門 ● 文学入門 ● 芸術鑑賞入門 ● 芸術表現（美術） ● 芸術表現（音楽） 情報科学 ● 情報リテラシー ● メディア情報基礎 ● データサイエンスへの招待—実践編 スポーツ・健康科学 ● 生涯スポーツ論 ● 健康とからだの科学 ● 健康とこころの科学 ● 健康生活学 ● スポーツ実践演習 	<p>スペイン語圏研究概論</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 言語 ● 文学 <p>研究各論</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スペイン語圏言語 ● スペイン語圏文学 ● イベロアメリカ文化 ● イベリア半島の歴史と現在 ● スペイン・地中海地域論 ● ラテンアメリカの歴史と現在 ● ラテンアメリカ政治・経済 ● ポルトガル語圏言語・文学 ● ポルトガル語圏の歴史と現在 ● イベロアメリカ特殊講義 ● 地域社会と言語 ● Estudios de Japón e Iberoamérica ● Estudos do mundo lusófono 	<p>基礎演習 II</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 文化 ● 社会 	<p>学部共通研究各論</p> <p>【言語研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 言語学 ● 言語の種類 ● 音声学 ● 言語と音 ● 社会言語学 ● 歴史言語学 ● 比較言語学 ● 認知言語学 ● 現代英語の特質 ● 日本語学 ● 現代日本語の諸問題 ● 日本語音声学 ● 日本語文法論 ● 現代日本語文法研究 <p>【多言語・多文化社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移民と文化接触 ● 民族問題 ● 多言語社会研究 I・II ● 異文化コミュニケーション ● 共生社会とコミュニケーション実践 ● 日本語コースデザイン論 ● 日本語学習支援とメディアリテラシー ● 日本語教育学概論 ● 共生のための日本語教育 ● 共生社会と教育 ● 多文化社会論 <p>【市民社会・地域社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティ通訳論 ● 地域と国家 ● 現代民主主義論 ● メディアと人権 ● ジェンダー論 ● 都市・地域再生論 ● NPO・NGO 論 ● 地域社会論 	<p>■ 「学部共通研究各論」から6科目12単位以上を修得</p> <p>■ 「学部共通英語科目」「関連言語科目」から4単位以上を修得（諸地域言語科目の2単位を含む）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 情報リテラシー ● メディア情報基礎 ● データサイエンスへの招待—実践編 スポーツ・健康科学 ● 生涯スポーツ論 ● 健康とからだの科学 ● 健康とこころの科学 ● 健康生活学 ● スポーツ実践演習 	<p>研究演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イベロアメリカ言語・社会 ● スペイン語圏文学・文化 ● ラテンアメリカ文化 ● ラテンアメリカ社会 ● ラテンアメリカ政治・経済 ● イベリア半島地域研究 ● 日欧比較都市研究 	<p>卒業論文</p>	<p>【国際社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国際法 I・II ● 国際政治学 ● 国際協力 ● 比較政治・政治史 ● 英連邦と国際社会 ● 南北アメリカ国際関係 <p>【アジア・新興国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アジア・新興国論 ● 日本経済と新興国 ● ロシア研究 ● アフリカ研究 ● 東南アジア社会研究 ● アジア文化研究 ● アジア政治経済研究 ● 中東・イスラーム圏研究 <p>【歴史・文化論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 文学・批評 ● 映像文化・演劇 ● 科学技術史 ● 思想史 ● 宗教学 ● コロニアリズム文化史 ● ヨーロッパ中世・近世史 ● モノ・人の動きからみた世界史 	<p>多言語社会課程科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多言語社会共通演習 ● 多言語社会特殊演習 ● 多言語社会フィールド実習
<p>現代社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本国憲法 ● 法学入門 ● 政治学入門 ● 経済学入門 ● 社会福祉入門 ● 比較文化社会 ● 社会学入門 ● 現代社会の諸問題 ● 高度情報社会の理解 				

スペイン語・ポルトガル語圏専攻の専任教員

氏名	専門分野
糸魚川美樹 <i>ITOIGAWA, Miki</i>	スペイン語学・社会言語学。スペイン語とそれが話されている社会の関係についてジェンダーや社会的マイノリティなどの視点から考察。
江澤照美 <i>EZAWA, Terumi</i>	スペイン語学、スペイン語教育。スペイン語が世界中でどのように使われているかを社会と人間の関わりから考察・研究している。 また、日本語を母語とする学習者にスペイン語を効果的に習得してもらう方法を追究している。
奥野良知 <i>OKUNO, Yoshitomo</i>	カタルーニャの歴史と地域研究。同地ではなぜ経済活動が歴史的に盛んなのか、同地はなぜ独自のアイデンティティを持ち続けているのか、等々。
小池康弘 <i>KOIKE, Yasuhiro</i>	ラテンアメリカ地域研究。現代ラテンアメリカ諸国の国際関係や政治変動のメカニズム。 キューバのナショナリズムと社会主義体制の関連性について。
竹中克行 <i>TAKENAKA, Katsuyuki</i>	地理学・現代都市論。スペインをはじめ、地中海ヨーロッパのフィールドワークをもとに、地域多様性のマネジメントを軸とする都市・地域再生の方法論を探求。
田邊まどか <i>TANABE, Madoka</i>	黄金世紀（16・17世紀）のスペイン文学。 初期近代のインテレクチュアル・ヒストリーと文学の関連。
谷口智子 <i>TANIGUCHI, Tomoko</i>	宗教学、ラテンアメリカ地域研究（歴史・文化）。 大航海時代以降のキリスト教の世界布教と植民地主義、メソアメリカ、ラテンアメリカ、アジアにおける異文化接触。
吉田理加 <i>YOSHIDA, Rika</i>	通訳を介した（異文化）コミュニケーションの実践の仕組みと、「通訳」という社会的営為を人々がどのように捉えているのかという意識に焦点をあて研究しています。 キーワード：（コミュニティ）通訳研究、言語イデオロギー、トランスレーションポリシー。
渡会 環 <i>WATARAI, Tamaki</i>	ブラジル地域研究、現代ブラジルにおける人種・エスニシティの問題、ブラジル人の国際移動。
アレックス・ピナル・ガルシア <i>PINAR GARCIA, Alex</i>	言語学、比較文学、日本映画。
リディア・サラ・カハ <i>SALA CAJA, Lidia</i>	スペイン語学、スペイン語教育。

外国語学部 3・4 年次専門コース 多言語社会課程新設

3年次からは専攻言語(学科・専攻)の枠を超えて学ぶことが可能！

2023年度入学者から、学科・専攻の枠を超えて学ぶことができる3・4年次専門コースとして「多言語社会課程」が新設されました。

外国語学部では、6つの専攻言語（英・フランス・スペイン・ポルトガル・ドイツ・中国）のほか世界の多様な言語や文化を学ぶための科目が開設されています。3年次から「多言語社会課程」を選択すると、学科・専攻の枠を超えて様々な言語が話されている国・地域の状況、隣接する言語圏相互の関係、地域社会の中の多言語化など様々なトピックについて専門的に学ぶことができます。たとえば、多言語主義、言語政策、移民、コミュニティ通訳、日本語教育、手話、マイノリティ、ナショナリズム、ジェンダー、貧困、教育、人権など幅広いテーマに関連する専門科目があります。さらに、課題解決を考えるワークショップ型の演習、フィールド実習（国内や海外での視察・調査）、NGO との協働や映像・メディア発信などを通じて、現代的課題の解決を考える学びを理論・実践の両面から深めていきます。

学科・専攻の壁を越えて一緒に学ぶこととなりますので、外国語学部の多様性も感じられることでしょう。この課程を修了した人には、卒業証書とともに「課程修了証」が授与されます。

#多様な言語・文化理解

#理論と実践

#多言語社会



ドイツ連邦共和国は世界第4位の、EUで最大の経済大国であり、日本にとって主要な貿易相手国の一つです。自動車産業をはじめとして、愛知県にとっても経済的に重要なパートナーです。

ドイツ語圏と日本との間には、多文化共生、環境保護、エネルギー政策（原発問題）、少子高齢化社会など、共通する課題が多くあります。これらの解決のために、ドイツ語圏の実情について学ぶことはとても意義があるのです。

ドイツ語の母語話者数は1億人を超え、母語話者数の多い10言語のうちの一つであり、EUで最も母語話者数の多い言語です。ドイツ語の学習者は、英語の次に多く、現在、世界中で1700万人います。ドイツ語は、ドイツ文化・社会を学ぶ上で、また国際的なコミュニケーションにおいて必要不可欠な言語なのです。ドイツ語圏専攻では、1クラス20名弱でドイツ語の少人数教育を行っています。

あなたも、さまざまな角度からドイツ語圏の文化と社会を学び、グローバルな視点から国際社会・地域社会における「共生」に貢献できるのです。

4年間で習得できること

- ✓ EUで最も母語話者の多いドイツ語の習得
(卒業時の到達目標 ドイツ語技能検定試験 2級以上)
- ✓ 日本と共通する社会的課題の理解
- ✓ 「共生」に貢献できるグローバルな視点





2015年度卒業
菊池あかりさん
トヨタ自動車(株)

県大の授業は、少人数制のクラスで教授との距離が近く、アットホームな雰囲気です。特に世界各国からの交換留学生たちと交流できる iCoToBa では、留学生だけでなく先輩、後輩、気さくな先生方との繋がりもでき、行けばいつでも誰かがいる、そんな安心感があります。1年間のイギリス留学では、言葉が通じず苦労しました。しかしそれならジェスチャーで、表情でコミュニケーションをとるうちに、様々な国からの友人ができ言語はもちろん総合的なコミュニケーション能力も身につきました。現在の仕事では海外とのやり取りもあり、日々の業務で戸惑うことも多々ありますが、まずは相手先や業務を理解しようと考えてみるという習慣がついたのは、県大で多くの人と密なコミュニケーションをする機会があったおかげだと思っています。



2016年度卒業
田中 愛さん
名古屋市役所

私は現在、名古屋市職員として西区役所保険年金課で国民年金担当として働いています。あまり馴染みがない分野で、全て一からの勉強ですが、大学時代に培った「何事も興味を持って挑戦する」という精神で日々乗り越えています。大学時代はドイツとカナダに留学しました。ドイツで生活した際、清潔で自然も多く美しい街並み、整備された交通機関、人々の美意識に感動したと同時に公共機関で言葉が通じず不安を感じたことは今でもよく覚えています。こうして自身が「外国人」として暮らした貴重な経験は名古屋に住む外国の方の豊かな暮らしを考える際、非常に生きてくるのではと考えています。「住む人が街を好きになれば自然と街は良くなっていく」と言います。私の仕事は街を大きく変えられるものではありませんが、国籍を問わず窓口に来る全ての方に大学で得た語学力を以て最上の接遇をし、街を好きになってもらい、名古屋を国際的に魅力ある街にして行くのが今の目標です。

ドイツ語圏専攻のカリキュラム

	ドイツ語を身につける		ドイツ語以外の外国語を身につける		幅広い知識や教養を	
	専攻言語科目		教養教育科目	専門科目	教養教育科目	
1年	ドイツ語 I ●総合 ●文法 ●会話		外国語科目 I (以下から選択) ●英語 ●スペイン語 ●フランス語 ●中国語 ●ロシア語 ●ポルトガル語 ●韓国朝鮮語 ●日本語 (留学生対象)	教養外国語ショートプログラム	APU 教養コア科目 ●多文化社会への招待 【世界を理解する】 APU 教養連携科目 ●グローバル社会の諸問題 多文化理解 ●多文化社会とコミュニケーション ●Global Vision Talks ●言語コミュニケーションと多様性 ●Japan's Interactions with Other Cultures ●Japan Seen from Outside ●原語で読む名著	
	ドイツ語 II ●文法 ●講読 ●作文 ●会話 ドイツ語実践 I・II	ドイツ語セミナー	外国語科目 II (英語を除き I と同じ) ●Intercultural Seminars in English (英語セミナー)		学部共通英語科目 ●Advanced Seminars in English A (2~4年生) ●Advanced Seminars in English B (3~4年生) 関連言語科目 ●古典語 ラテン語 ギリシア語 漢文 ●諸地域言語 (年度毎に変更) 【ヨーロッパ諸語】 ●カタルーニャ語 ●イタリア語 ●オック語 ●アイスランド語 【アジア諸語】 ●インドネシア語 ●ベトナム語 ●タイ語 ●日本手話 ●アラビア語 ●韓国朝鮮語	【地域を掘り下げる】 APU 教養連携科目 ●エアスタディーズ総論 愛知・日本 ●フィールドで学ぶ社会 ●愛知の文化遺産 ●愛知の産業 ●東海地方と日本文学 ●日本の歴史と文化 諸地域研究 ●アジアの歴史と文化 ●ヨーロッパの歴史と文化 ●北アメリカの歴史と文化 ●中南米の歴史と文化 ●アフリカの歴史と文化
3年	ドイツ語 III ●講読 ●作文 ●会話	研究講読 ●ドイツ語圏文化 ●ドイツ語圏社会 教科教育法 ●ドイツ語	外国語セミナー			
	ドイツ語 IV ●総合 ●会話					【社会に生きる】 APU 教養連携科目 ●ものづくりの現状と課題 キャリア・プランニング ●地域社会とキャリア構想 ●キャリア実践 ●日本語表現法 ●インターンシップ実践 ●キャリア展望—生き抜くカー
4年					【APU 教養特別科目】 ●県大エッセンシャル ●教養留学修得科目 ●県大教養ゼミナール	

身につける	ドイツ語圏の文化・社会について専門的に学ぶ		専門分野の基礎的知識を身につけ、理解を深める	多言語社会の理論と動態を学ぶ	
目	ドイツ語圏専攻専門科目		学部共通専門科目	多言語社会課程	
<ul style="list-style-type: none"> データサイエンスへの招待 【科学と人間を深める】 APU 教養連携科目 いのちと防災の科学 自然科学 教養のための科学 現代物理学 地球の科学 生活の中の化学 生命の科学 環境の科学 人文科学 哲学入門 心理学入門 文学入門 芸術鑑賞入門 芸術表現 (美術) 芸術表現 (音楽) 情報科学 情報リテラシー メディア情報基礎 データサイエンスへの招待一実践編 スポーツ・健康科学 生涯スポーツ論 健康とからだの科学 健康とこころの科学 健康生活学 スポーツ実践演習 	<p>研究概論</p> <ul style="list-style-type: none"> ドイツ語圏文学 ドイツ語圏文化 ドイツ語圏社会 	<p>基礎演習 I</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">海外協定大学修得科目</p>	<p>学部共通基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語研究入門 社会言語学入門 社会科学入門 歴史学入門 比較文化研究入門 フィールド研究入門 	<p>■「学部共通基礎科目」から社会言語学入門を含む2科目4単位以上を修得</p>
<p>現代社会</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法 法学入門 政治学入門 経済学入門 社会福祉入門 比較文化社会 社会学入門 現代社会の諸問題 高度情報社会の理解 	<p>研究各論</p> <ul style="list-style-type: none"> ドイツ文学 ドイツ文化 ドイツ語学 北欧の言語・文化 ドイツ史 ドイツ政治 ドイツ経済 ドイツ法 ドイツ語圏特殊講義 	<p>基礎演習 II</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語・文化 社会 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">卒業論文</p>	<p>学部共通研究各論</p> <p>【言語研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語学 言語の類型 音声学 言語と音 社会言語学 歴史言語学 比較言語学 認知言語学 現代英語の特質 日本語学 現代日本語の諸問題 日本語音声学 日本語文法論 現代日本語文法研究 <p>【国際社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際法 I・II 国際政治学 国際協力 比較政治・政治史 英連邦と国際社会 南北アメリカ国際関係 <p>【アジア・新興国】</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア・新興国論 日本経済と新興国 ロシア研究 アフリカ研究 東南アジア社会研究 アジア文化研究 アジア政治経済研究 中東・イスラーム圏研究 <p>【多言語・多文化社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移民と文化接触 民族問題 多言語社会研究 I・II 異文化コミュニケーション 共生社会とコミュニケーション実践 日本語コースデザイン論 日本語学習支援とメディアリテラシー 日本語教育学概論 共生のための日本語教育学 共生社会と教育 多文化社会論 <p>【市民社会・地域社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ通訳論 地域と国家 現代民主主義論 メディアと人権 ジェンダー論 都市・地域再生論 NPO・NGO 論 地域社会論 <p>【歴史・文化論】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文学・批評 映像文化・演劇 科学技術史 思想史 宗教学 コロニアリズム文化史 ヨーロッパ中世・近世史 モノ・人の動きからみた世界史 	<p>■「学部共通研究各論」から6科目12単位以上を修得</p> <p>■「学部共通英語科目」「関連言語科目」から4単位以上を修得 (諸地域言語科目の2単位を含む)</p>
		<p>研究演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ドイツ文学 ドイツ文化 ドイツ語学 北欧の言語・文化 ドイツ史 ドイツ政治 ドイツ法 			<p>多言語社会課程科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 多言語社会共通演習 多言語社会特殊演習 多言語社会フィールド実習

ドイツ語圏専攻の専任教員

氏名	専門分野
池田利昭 <i>IKEDA, Toshiaki</i>	ドイツ中近世史、ドイツ中近世における犯罪と刑罰の歴史、近世ポリツァイ史、ドイツ都市史
今野 元 <i>KONNO, Hajime</i>	ドイツ政治思想（フランス革命から第二次世界大戦までのナショナリズム研究）。ヨーロッパ国際政治史（ドイツ国民国家形成史）。日独関係史（吉野作造と上杉愼吉を中心に）。
櫻井 健 <i>SAKURAI, Takeshi</i>	言語学。言語の変化する特性と人間の活動との関係。集団の接触により生じる言語現象。北ゲルマン諸語。
杉原周治 <i>SUGIHARA, Shuji</i>	ドイツ法、憲法学、メディア法、放送法。
人見明宏 <i>HITOMI, Akihiro</i>	ドイツ語文法。ドイツ語の文とテキストの構造（新旧情報などの伝達価値と文における語順、テキストにおける文の配列や言語表現との関係）。ドイツ語教育。
平井 守 <i>HIRAI, Mamoru</i>	ドイツ語圏の文学、文化（ゲーテ、ベンヤミン、デリエ、オペラ、歌曲など）。
山本順子 <i>YAMAMOTO, Junko</i>	20世紀初頭のドイツ語圏の様々な文化現象（造形芸術、言語芸術、映画など）。芸術理論。
四ツ谷亮子 <i>YOTSUYA, Ryoko</i>	20世紀以降のドイツ語圏の演劇。舞台芸術（せりふを中心とした劇、オペラやミュージカルなどの音楽劇、ダンス…）およびパフォーマンスの理論。日米欧の文化政策の比較。
オリバー・アーリヒ <i>ARICH, Oliver</i>	ドイツ語コミュニケーション・学習理論（構成主義・脳神経科学）・デジタル教育。
クリストフ・ライヒェンベヒャー <i>REICHENBÄCHER, Christoph</i>	日本学、17世紀～19世紀のドイツと日本社会史、旅文化史、娯楽史、政治学、パフォーマンス・スタディーズ

日本語教員課程

Teacher Education Program for Teaching Japanese as a Second Language

本学では、外国語学部、日本文学部、教育福祉学部の学生が、日本語教員課程を履修することができます。日本語そのものの知識や日本語の教え方はもちろん、地域の日本語教室での実習を通して、さまざまな多言語・多文化状況で必要となるコミュニケーション能力を身につけることができます。毎年20名程度が修了し、卒業後は、プロの日本語教師をはじめ、地方自治体や外国人と共に働く企業などで活躍しています。

自ら学び取る力をやしなう2種類の日本語教育実習

日本語教員課程では、1年間の国内実習(必修)と海外の協定大学などで行う国外実習(選択)を講義しています。国内実習では、地域社会における外国人住民支援に関わる課題など、多文化共生社会の一員として必要な知識とともに、日本語学習支援の技能を身につけます。国外実習では、海外で日本語を学ぶ学習者を対象に、会話授業や文化紹介を行います。海外渡航が難しいときは、海外の大学で日本語を学ぶ学生にオンライン授業を企画・実施しています。このような協働経験を通して異なる背景を持つ学習者への対応のしかたを身につけることができます。

実習の様子は facebook ページ
「愛知県立大学日本語教育実習」
@kendainihongo で配信されています。



ロシア・シベリア連邦大学にて

卒業生の声

国際関係学科2016年度卒業

佐藤 遥さん

香港大学專業進修学院 日本語講師



日本語教員課程では、仲間や先生方との関わりからたくさんのことを学びました。特にブラジル出身日系人の集住地域の一つ愛知県だからこそ、日本語教育実習の地域活動を通して取り組んだ課題は、リアルな実感を伴うものでした。

中国学科

中国学科 / 中国学科



21世紀はアジアの時代です。その中でも、中国語が使用される中国語圏は、世界で最も経済発展が著しい地域の一つです。したがって、アジアを舞台として活躍するためには、外国語に堪能であるばかりでなく、中国語圏についての異文化理解能力と、国際的視野に立った判断力を持つことが必要です。

この学科では1年次から中国語の基礎を学びはじめ、中国語の学習と並行して中国の言語・民族・文学・文化・歴史・社会・政治・経済について専門的に学びます。2年次後期からは「翻訳・通訳コース」も開設され、ビジネス、観光、医療・福祉の科目やネイティブによる「中国語原語特殊講義」科目を必修にすることで、中国語のさらなるレベル向上を目指します。3年次以降はゼミに所属して指導教員のもとで中国語圏の研究を深めます。

中国学科は、中国語圏さらには中国語圏を基盤としたアジア諸地域を研究・教育の主な対象とし、今後日本との交流がますます盛んになる中国・アジア地域に向き合い、優れた異文化理解能力と国際的判断力を発揮することができる人材の育成を目指しています。

4年間で習得できること

- ✓ 高度な中国語運用能力
(卒業時の到達目標 中国語検定試験2級もしくはHSK5級以上)
- ✓ 中国語圏・アジア諸地域に関する基礎知識、総合的な分析能力
- ✓ ビジネスや観光、医療・福祉の現場に対応できる中国語能力





2019年度卒業
國分梨花さん
 名古屋大学大学院
 国際開発研究科

私は今、名古屋大学大学院国際開発研究科で、国際関係・協力について学んでいます。進学を決めた理由は、卒業論文で取り扱った、東ティモールとオーストラリアの関係について、より深く研究したいと思ったためです。私の在籍する大学院は、留学生が多く、大半が英語での講義であるため、大変ながらも有意義な毎日を過ごしています。

大学時は、中国語についてはもちろんのこと、中国社会や歴史、更にはアジア全般について学びました。中国語は、基礎からしっかりと教えて頂けるので、4年間で理解できるようになりました。私はさらに、途上国についてを学ぶ「アジア・新興国プログラム」の履修や、中国語・英語の教員免許を取得しました。中国学科は、自分が「やりたい」と思えば、様々なことにチャレンジできる環境が整っているだけでなく、それをサポートして下さる先生方がたくさんいらっしゃいます。ぜひ中国学科に入学し、楽しい学生生活を過ごしてください。



2016年度卒業
元長 舜さん
 鈴与(株)

私は静岡市の清水に本社を構える物流企業、鈴与株式会社に勤務しています。現在は経理部に所属し、東京のオフィスで海外拠点への送金手配をかける仕事をしています。海外とつながりのある仕事をする憧れが子供の頃からあり、実際に英語で書かれた書類に触れる機会もあったりと、刺激のある日々です。またメールで海外の人と連絡を取ることもしばしばあり、コミュニケーションで難しいと感じることもありますが、責任とやりがいのある仕事です。

私は愛知県立大学でまず中国語を学び、さらに中国だけでなく東南アジア社会についての勉強をしました。私の会社はアジア諸地域にたくさんの拠点を持っており、将来駐在員として働くことを目標にしています。学生時代に広く外国の言語や文化について学んだことで、海外で働きたいという気持ちは一層強くなりました。愛知県立大学は目標に向けての第一歩を踏み出せた場所です。皆さんにもそれぞれ目標を掲げ、有意義な大学生活、そして将来へのステップアップを図っていただきたいと思います。

中国学科のカリキュラム

	中国語を身につける		中国語以外の外国語を身につける		幅広い知識や教養を身に付ける	
	専攻言語科目		教養教育科目		教養教育科目	
1年	中国語 I ●基礎 ●総合 ●文法作文 ●会話		外国語科目 I (以下から選択) ●英 語 ●スペイン語 ●ドイツ語 ●フランス語 ●ロシア語 ●ポルトガル語 ●韓国朝鮮語 ●日本語 (留学生対象)		教養外国語シニョートプログラム	APU 教養コア科目 ●多文化社会への招待 【世界を理解する】 APU 教養連携科目 ●グローバル社会の諸問題 多文化理解 ●多文化社会とコミュニケーション ●Global Vision Talks ●言語コミュニケーションと多様性 ●Japan's Interactions with Other Cultures ●Japan Seen from Outside ●原語で読む名著
	中国語 II ●総合 ●講読 ●文法作文 ●会話 ビジネス中国語 観光中国語 医療・福祉中国語		中国語セミナー 外国語科目 II (英語を除き I と同じ) ●Intercultural Seminars in English (英語セミナー)			東アジア言語 ●台湾語 ●上海語 (年度毎に変更) 学部共通英語科目 ●Advanced Seminars in English A (2~4年生) ●Advanced Seminars in English B (3~4年生) 関連言語科目 ●古典語 ●ラテン語 ●ギリシア語 ●漢文 ●諸地域言語 (年度毎に変更) 【ヨーロッパ諸語】 ●カタルーニャ語 ●イタリア語 ●オック語 ●アイスランド語 【アジア諸語】 ●インドネシア語 ●ベトナム語 ●タイ語 ●日本語 ●アラビア語 ●韓国朝鮮語
2年	中国語 III ●講読 ●文法作文 ●会話 応用ビジネス中国語 時事中国語		研究講読 ●中国歴史・社会 ●中国政治・経済 ●中国語・言語民族 ●中国文学・文化 教科教育法 ●中国語		翻訳・通訳コース 外国語セミナー	【社会に生きる】 APU 教養連携科目 ●ものづくりの現状と課題 キャリア・プランニング ●地域社会とキャリア構想 ●キャリア実践 ●日本語表現法 ●インターンシップ実践 ●キャリア展望—生き抜くカー
	3年		4年			【APU 教養特別科目】 ●県大エッセンシャル ●教養留学修得科目 ●県大教養ゼミナール

身につける	中国語圏の文化・社会について専門的に学ぶ		専門分野の基礎的知識を身につけ、理解を深める	多言語社会の理論と動態を学ぶ	
目	中国学科専門科目		学部共通専門科目	多言語社会課程	
<ul style="list-style-type: none"> データサイエンスへの招待 <p>【科学と人間を深める】 APU 教養連携科目</p> <ul style="list-style-type: none"> いのちと防災の科学 <p>自然科学</p> <ul style="list-style-type: none"> 教養のための科学 現代物理学 地球の科学 生活の中の化学 生命の科学 環境の科学 <p>人文科学</p> <ul style="list-style-type: none"> 哲学入門 心理学入門 文学入門 芸術鑑賞入門 芸術表現（美術） 芸術表現（音楽） <p>情報科学</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報リテラシー メディア情報基礎 データサイエンスへの招待—実践編 <p>スポーツ・健康科学</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯スポーツ論 健康とからだの科学 健康とこころの科学 健康生活学 スポーツ実践演習 <p>現代社会</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法 法学入門 政治学入門 経済学入門 社会福祉入門 比較文化社会 社会学入門 現代社会の諸問題 高度情報社会の理解 	<p>研究概論</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国歴史・社会 中国政治・経済 中国語・言語民族 中国文学・文化 東アジア社会 	<p>基礎演習Ⅰ</p>	<p>学部共通基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語研究入門 社会言語学入門 社会科学入門 歴史学入門 比較文化研究入門 フィールド研究入門 	<p>■「学部共通基礎科目」から社会言語学入門を含む2科目4単位以上を修得</p>	
	<p>研究各論</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国歴史・社会 中国政治・経済 中国語・言語民族 中国文学・文化 東アジア社会 	<p>基礎演習Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国歴史・社会 中国政治・経済 中国語・言語民族 中国文学・文化 	<p>学部共通研究各論</p> <p>【言語研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語学 言語の類型 音声学 言語と音 社会言語学 歴史言語学 比較言語学 認知言語学 現代英語の特質 日本語学 現代日本語の諸問題 日本語音声学 日本語文法論 現代日本語文法研究 <p>【国際社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際法Ⅰ・Ⅱ 国際政治学 国際協力 比較政治・政治史 英連邦と国際社会 南北アメリカ国際関係 <p>【アジア・新興国】</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア・新興国論 日本経済と新興国 ロシア研究 アフリカ研究 東南アジア社会研究 アジア文化研究 アジア政治経済研究 中東・イスラーム圏研究 	<p>【多言語・多文化社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移民と文化接触 民族問題 多言語社会研究Ⅰ・Ⅱ 異文化コミュニケーション 共生社会とコミュニケーション実践 日本語コースデザイン論 日本語学習支援とメディアリテラシー 日本語教育学概論 共生のための日本語教育学 共生社会と教育 多文化社会論 <p>【市民社会・地域社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ通訳論 地域と国家 現代民主主義論 メディアと人権 ジェンダー論 都市・地域再生論 NPO・NGO 論 地域社会論 <p>【歴史・文化論】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文学・批評 映像文化・演劇 科学技術史 思想史 宗教学 コロニアリズム文化史 ヨーロッパ中世・近世史 モノ・人の動きからみた世界史 	<p>■「学部共通研究各論」から6科目12単位以上を修得</p> <p>■「学部共通英語科目」「関連言語科目」から4単位以上を修得（諸地域言語科目の2単位を含む）</p> <p>多言語社会課程科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 多言語社会共通演習 多言語社会特殊演習 多言語社会フィールド実習
		<p>研究演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国歴史・社会 中国政治・経済 中国語・言語民族 中国文学・文化 東アジア社会 <p>特殊研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 翻訳・通訳演習 原語特殊講義（中国事情） 原語特殊講義（言語文化） 原語特殊講義（歴史社会） 	<p>卒業論文</p>		

中国学科の専任教員

氏名	専門分野
袁 晓今 <i>YUAN, Xiaojin</i>	中国語の語構成、名詞研究・生成語彙論・日中対照言語学。
川尻文彦 <i>KAWAZIRI, Fumihiko</i>	中国近代思想、日中思想文化交流史、中国哲学。
黄 東蘭 <i>HUANG, Donglan</i>	中国近現代史、近代日中関係史。日中両国歴史教科書の比較研究。
小座野八光 <i>KOZANO, Yako</i>	インドネシア経済史。ジャワ村落社会研究。東南アジアにおけるキリスト教研究。
張 文菁 <i>CHO, Bunsei</i>	中国語圏の通俗小説、台湾文学、中国近現代文学。特に日本の植民地だった台湾における中国語出版市場の形成過程に関心を持つ。
月田尚美 <i>TSUKIDA, Naomi</i>	言語学、音声学。言語の記述（音韻、形態、統語）。類型論。台湾原住民諸語、少数民族言語の記録・復興・保存。
西野真由 <i>NISHINO, Mayu</i>	中国経済論。現代中国の農業、農村経済。
楊 明 <i>YANG Ming</i>	専門分野は現代中国語文法。特に認知言語学のパラダイムで語彙・文法を中心とし日本語との対照研究も視野に入れた研究を行っている。
趙 宏剛 <i>ZHAO, Honggang</i>	中国語学。中国語文法。中国語における談話標識が形成される動因及びメカニズムについて文法化理論の視点から考察。
張 金平 <i>ZHANG, Jinping</i>	中国語歴史文法、現代中国語文法、言語と社会、対外中国語教育。

取得できる教員免許

本学では、中等・高等学校教諭専修免許を含む、幅広い教員免許を取得できる体制が整っています。そのうち、外国語学部で取得できる免許には、中学校教諭一種（英語）、高等学校教諭一種（英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語）があります。併せて、学校図書館司書教諭資格も取得可能です。

多くの卒業生が、愛知県内外の中学校や高等学校の教員として活躍しています。過去5年間の教員免許の取得状況（2022年度取得見込を含む）は、英語（中学校）84名（英米学科59名、その他の学科・専攻25名）、英語（高等学校）104名（英米学科78名、その他の学科・専攻26名）、フランス語5名、スペイン語7名、中国語7名となっています。

卒業生の声



英米学科2016年度卒業

後藤翔太さん

愛知県高等学校教諭（英語科）

英語「を」学ぶだけではなく、英語を学ぶこと「を通して」周囲と接し、新たな関係を築いたり、その場から新たに何かを吸収することや納得がいくまで物事を突き詰めることの楽しさを学べたのが県大でした。

現在、高校教諭として毎日元気な生徒たちと共に英語に触れています。初任の時、単語や文法・言語構造の成り立ちやその背後にある文化や歴史を紹介したことがあります。生徒が目を輝かせながら集まってきて会話をし、ほどよい関係を築ききっかけを作ることができました。また、スクールインターンといった県大独自の体験プログラムを通して、現場のあり方・教員として必要な資質を教壇に立つ前に知ることができ、不安を和らげることや前段階での準備もできました。

今、毎日楽しく生徒たちと学び続けることができるのは、県大を通しての学びや経験が基盤としてあるからだと確信しています。皆さんも未来の自分の基盤を築き、充実した学生生活を送ってください。

国際関係学科

Department of International and Cultural Studies



国際関係学科は、個々の国家や社会の特徴をミクロなレベルから観察する一方で、それらの間の関係をマクロなレベルから考察して、より広く、より深く世界を観察・分析できるようになることを目標としています。

このため、複数のネイティブ教員を中心に充実した英語教育を行う一方で、世界の様々な国や地域に目を配り、Think globally, Act locally を実践する人材を育てます。

国家間の関係がどのようなものなのか、政治・経済・法律などを中心に考えたい人のためにも、国や地域がどのような文化的背景をもっているのか、民族構成や言語・文化の観点から考えたい人のためにも、ヴァリエティに富んだ授業が用意されています。

みなさんが世界に出て、問題解決のために努力するとき、大学で学んだことが役に立つ——そんな学科をわたしたちは目指しています。

4年間で習得できること

- ✓ 高度な英語運用能力
(卒業時の到達目標 TOEIC Listening & Reading Test 800点以上)
- ✓ 優れた異文化理解能力
- ✓ グローバル社会に関する知識



新入生歓迎合宿



フィールドワーク・フェスタ「旅の写真展」



2013年度卒業
伊藤亜衣さん
共同通信社

私は、国内外のメディアにニュースを配信する通信社の記者として、事件事故やイベントの取材を主に担当しています。現場に行き、様々なひとに話を聞き、記事を書く。毎日違う仕事ができる記者の仕事はとても楽しいです。もちろん痛ましい悲しい事件や事故の取材もあります。「伝える」ことで何かが変わると信じて、伝え続けていきたいと思っています。私は愛知県立大学で教養を中心に幅広い分野を学びたいと思い、国際関係学科を専攻しました。そして他の大学院でジャーナリズムを専攻して、共同通信社に入社しました。大学4年間では、講義で知識を得たことはもちろんですが、なにより「ひと」との関わり合いのなかで多くを学んだと思います。在学中はたくさんの教職員の方々にお世話になりました。他愛もない話から進路の相談まで、授業外でも熱心に話をしてくださいました。愛知県立大学の財産は「ひと」だと思います。いま第一志望だった共同通信社の記者として働いているのは、大学4年間の経験がとても大きいと思っています。みなさんも少し厚かましくくらいに研究室のドアをノックしてみてください。



2015年度卒業
石井 俊さん
フジドリームエアライン

高校時代から地元事情にも海外事情にも興味があった私には、愛知県に根ざした国際関係学科はピッタリの学科でした。同じ趣味趣向の仲間たちや親身で熱心な教員の皆さんに「育てられ」、地方同士の飛行機で結び、地域活性化に貢献する「地域航空会社」に就職しました。

旅行や仕事、帰省など「移動」を支える交通機関は社会のインフラです。そんな事業に携わるには、あらゆる事象を「ミクロ」と「マクロ」の双方の視点から思考できるセンスが強みとなります。卒業から10年近く経ちますが、大学生活で養った見識は、そうした意味で今の仕事に役に立っている、と日々感じます。

国際関係学科のカリキュラム

	英語を身につける		英語以外の外国語を身につける		幅広い知識や教養を
	専攻言語科目		教養教育科目	専門科目	教養教育科目
1年	リーディング I ライティング I オーラル・コミュニケーション I インテグレイテッド・オーラル・イングリッシュ ディベート		外国語科目 I (以下から選択) ●フランス語 ●スペイン語 ●ドイツ語 ●中国語 ●ロシア語 ●ポルトガル語 ●韓国朝鮮語 ●日本語 (留学生対象)	教養外国語ショートプログラム	APU 教養コア科目 ●多文化社会への招待 【世界を理解する】 APU 教養連携科目 ●グローバル社会の諸問題 多文化理解 ●多文化社会とコミュニケーション ●Global Vision Talks ●言語コミュニケーションと多様性 ●Japan's Interactions with Other Cultures ●Japan Seen from Outside ●原語で読む名著
	リーディング II ライティング II オーラル・コミュニケーション II トピック・リーディング	E I C プログラム	外国語科目 II (Iと同じ)		学部共通英語科目 ●Advanced Seminars in English A (2~4年生) ●Advanced Seminars in English B (3~4年生) 関連言語科目 ●古典語 ●ラテン語 ●ギリシア語 ●漢文 ●諸地域言語 (年度毎に変更) 【ヨーロッパ諸語】 ●カタルーニャ語 ●イタリア語 ●オック語 ●アイスランド語 【アジア諸語】 ●インドネシア語 ●ベトナム語 ●タイ語 ●日本手話 ●アラビア語 ●韓国朝鮮語
3年	プレゼンテーション インフォメーション・リテラシー・アンド・リサーチ・プラクティス ライティング・フォー・アカデミック・パーパス ライティング・フォー・ビジネス・パーパス		外国語セミナー		
					【社会に生きる】 APU 教養連携科目 ●ものづくりの現状と課題 キャリア・プランニング ●地域社会とキャリア構想 ●キャリア実践 ●日本語表現法 ●インターンシップ実践 ●キャリア展望—生き抜く力—
4年					【APU 教養特別科目】 ●県大エッセンシャル ●教養留学修得科目



身につける	グローバル社会の文化・制度について専門的に学ぶ	専門分野の基礎的知識を身につけ、理解を深める	多言語社会の理論と動態を学ぶ
目	国際関係学科専門科目	学部共通専門科目	多言語社会課程
<ul style="list-style-type: none"> ● データサイエンスへの招待 【科学と人間を深める】 APU 教養連携科目 ● いのちと防災の科学 自然科学 ● 教養のための科学 ● 現代物理学 ● 地球の科学 ● 生活の中の化学 ● 生命の科学 ● 環境の科学 人文科学 ● 哲学入門 ● 心理学入門 ● 文学入門 ● 芸術鑑賞入門 ● 芸術表現 (美術) ● 芸術表現 (音楽) 情報科学 ● 情報リテラシー ● メディア情報基礎 ● データサイエンスへの招待—実践編 スポーツ・健康科学 ● 生涯スポーツ論 ● 健康とからだの科学 ● 健康とこころの科学 ● 健康生活学 ● スポーツ実践演習 	<p>学科基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研究概論 ● 基礎演習 I 	<p>学部共通基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 言語研究入門 ● 社会言語学入門 ● 社会科学入門 ● 歴史学入門 ● 比較文化研究入門 ● フィールド研究入門 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「学部共通基礎科目」から社会言語学入門を含む2科目4単位以上を修得
<ul style="list-style-type: none"> ● 哲学入門 ● 心理学入門 ● 文学入門 ● 芸術鑑賞入門 ● 芸術表現 (美術) ● 芸術表現 (音楽) 情報科学 ● 情報リテラシー ● メディア情報基礎 ● データサイエンスへの招待—実践編 スポーツ・健康科学 ● 生涯スポーツ論 ● 健康とからだの科学 ● 健康とこころの科学 ● 健康生活学 ● スポーツ実践演習 	<p>学科基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基礎演習 II ● プロジェクト型演習 <p>学科研究各論</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会言語学 ● 民族問題 ● 多言語社会研究 I・II ● 異文化コミュニケーション ● 共生社会とコミュニケーション実践 ● 日本語教育学概論 ● 共生のための日本語教育学 ● 共生社会と教育 ● 多文化社会論 ● 国際法 I・II ● 国際政治学 ● 国際協力 ● NPO・NGO 論 ● 地域社会論 ● アジア・新興国論 ● 日本経済と新興国 ● ロシア研究 ● アフリカ研究 ● 東南アジア社会研究 ● アジア文化研究 ● 文化人類学 I ● 民族音楽学 ● 世界経済論 ● 国際政治経済 ● 国際関係史 ● 東南アジア社会特講 ● ロシア特講 ● 国際特殊講義 	<p>学部共通研究各論</p> <p>【言語研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 言語学 ● 言語の種類 ● 音声学 ● 言語と音 ● 歴史言語学 ● 比較言語学 ● 認知言語学 ● 現代英語の特質 ● 日本語学 ● 現代日本語の諸問題 ● 日本語音声学 ● 日本語文法論 ● 現代日本語文法研究 <p>【多言語・多文化社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移民と文化接触 ● 日本語コースデザイン論 ● 日本語学習支援とメディアリテラシー <p>【市民社会・地域社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティ通訳論 ● 地域と国家 ● 現代民主主義論 ● メディアと人権 ● ジェンダー論 ● 都市・地域再生論 <p>【歴史・文化論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 文学・批評 ● 映像文化・演劇 ● 科学技術史 ● 思想史 ● 宗教学 ● コロニアリズム文化史 ● ヨーロッパ中世・近世史 ● モノ・人の動きからみた世界史 <p>【国際社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 比較政治・政治史 ● 英連邦と国際社会 ● 南北アメリカ国際関係 <p>【アジア・新興国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アジア政治経済研究 ● 中東・イスラーム圏研究 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「学部共通研究各論」から6科目12単位以上を修得 ■ 「学部共通英語科目」「関連言語科目」から4単位以上を修得 (諸地域言語科目の2単位を含む) <p>多言語社会課程科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多言語社会共通演習 ● 多言語社会特殊演習 ● 多言語社会フィールド実習
<ul style="list-style-type: none"> 現代社会 ● 日本国憲法 ● 法学入門 ● 政治学入門 ● 経済学入門 ● 社会福祉入門 ● 比較文化社会 ● 社会学入門 ● 現代社会の諸問題 ● 高度情報社会の理解 ● 県大教養ゼミナール 	<p>学科研究各論</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 民族言語研究 ● 国際法 III ● 文化人類学 II ● グローバル・ガバナンス ● グローバル金融 ● 国際紛争 <p>研究講読</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研究講読 <p>研究演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研究演習 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">卒業論文</p>	

国際関係学科の専任教員

氏名	専門分野
秋田貴美子 <i>AKITA, Kimiko</i>	日米文化、多文化を人類学、女性学の領域から研究。言葉遣い、仕草、ポップカルチャーに見られるエスニック・人種・ジェンダーに関する偏見、差別を考察。
東 弘子 <i>AZUMA, Hiroko</i>	日本語学、社会言語学。敬語など対人関係に関わる文法システムの解析。また多言語・多文化化する日本社会における日本語のあり方や捉えられ方についての考察。
亀井伸孝 <i>KAMEI, Nobutaka</i>	文化人類学、アフリカ地域研究。フィールドワークを通じ、狩猟採集民、アフリカの子どもの生活と文化、ろう者コミュニティと手話言語などの研究を行っている。
アンドレア・カールソン <i>CARLSON, Andrea</i>	専門はハイテクを用いた英語教育。多様な社会・文化背景の子供達のメンタルヘルスサポート研究をしています。どうぞよろしく!
木下郁夫 <i>KINOSHITA, Ikuo</i>	国際政治学。主権をもつ国家同士の関わり合いを究明する。国や国際機構の外交によって、どのように平和が保たれ、または、どうして戦争になってしまうか考える。
高阪香津美 <i>KOSAKA, Katsumi</i>	多文化化する日本社会の中で、ポルトガル語教育をブラジル人児童・生徒の母語教育と外国語教育の両側面から捉え、現状と課題を明らかにし今後の在り方を探る。
高橋慶治 <i>TAKAHASHI, Yoshiharu</i>	現代チベット語、キナウル語の記述研究。現地調査による資料収集と分析を行う。とくに動詞の活用と名詞形式の関連をめぐる形態統語論レベルの現象の探求。
半谷史郎 <i>HANYA, Shiro</i>	ロシア研究、特に20世紀ソ連時代の民族政策や文化政策が専門です。また日本人がソ連をどう見ていたかという観点から、日ソ関係史にも関心を持っています。
福岡千珠 <i>FUKUOKA, Chizu</i>	アイルランドの文化ナショナリズムを社会学的観点から研究。とりわけアイルランド自由国以降のアイルランド語復興に焦点を当てる。
藤倉哲郎 <i>FUJIKURA, Tetsuro</i>	東南アジア地域研究、おもに社会経済分野。高度経済成長下ベトナム農村の社会経済変化を、他のアジア諸国との比較を念頭にしつつ、農村就労や労働市場に着目して研究している。
エドガー・ライト・ポープ <i>POPE, Edgar Wright</i>	ポピュラー音楽を歴史的・政治的・文化的な文脈のなかで分析する。特に戦前・戦時中の日本とアメリカのポピュラー音楽における異国情緒・異文化情緒が焦点。
矢野順子 <i>YANO, Junko</i>	東南アジア政治、東南アジア地域研究。ラオスを中心に植民地期～独立後の東南アジア諸国のナショナリズム、国民国家建設について研究している。
山口雅生 <i>YAMAGUCHI, Masao</i>	日本経済や国際経済をマクロ経済学的な視点から分析。金融政策と国際資本移動、最低賃金政策と雇用、経済停滞の要因、技術進歩と経済成長に関心がある。
山下朋子 <i>YAMASHITA, Tomoko</i>	国際法。多様化する現代の国際問題について、法的分析を行う。国家間関係を規律してきた国際法が、個人、企業、国際機構等との関係でどのように機能するのかに興味がある。

2023年度学部教育プログラム改革

学部共通専門科目の開設

外国語学部では、既存科目を大幅に拡充し、2023年度以降に入学する全学科・専攻の学生が履修する「学部共通専門科目」（以下の①～④）を開設します。

① 学部共通基礎科目

全学科・専攻の1・2年生が履修する専門基礎科目として、「社会言語学入門」「言語研究入門」「社会科学入門」「歴史学入門」「比較文化研究入門」「フィールド研究入門」の計6科目が開設されます。これらの科目の履修を通じて、外国語学部での学びに必要な各分野の基礎的知識を身につけます。

② 学部共通研究各論

全学科・専攻の2～4年生が履修する専門発展科目として、右表の6科目群（A～F）と特殊講義からなる計58科目が開設されます。これらの科目の履修を通じて、各分野のより専門的な理解を深めます。

③ 学部共通英語科目

全学科・専攻の2～4年生が選択できる、アカデミックな英語に重点を置いた専門教育の英語科目として、Advanced Seminars in English A/Bの2科目が開設されます。英米学科・国際関係学科以外の英語を専攻言語としない学生も、これらの科目の履修を通じて、英語運用能力のさらなる高度化を目指します。

④ 関連言語科目

全学科・専攻の2～4年生が選択できる専門の語学科目で、ラテン語、ギリシア語、漢文といった「古典語」のほか、「諸地域言語」として、イタリア語、オック語、北欧語、カタルーニャ語などのヨーロッパ諸語やアラビア語、ラオス・タイ語、ベトナム語、インドネシア語などのアジア諸語が学べます。

② 学部共通研究各論

A 言語研究

言語学、言語の類型、音声学、言語と音
社会言語学、歴史言語学、比較言語学
認知言語学、現代英語の特質
日本語学、現代日本語の諸問題
日本語音声学、日本語文法論
現代日本語文法研究

B 歴史・文化論

文学・批評、映像文化・演劇、科学技術史
思想史、宗教学、コロニアリズム文化史
ヨーロッパ中世・近世史
モノ・人の動きからみた世界史

C 多言語・多文化社会

移民と文化接触、民族問題
多言語社会研究Ⅰ・Ⅱ
異文化コミュニケーション
共生社会とコミュニケーション実践
日本語コースデザイン論
日本語学習支援とメディアリテラシー
日本語教育学概論
共生のための日本語教育学
共生社会と教育、多文化社会論

D 国際社会

国際法Ⅰ・Ⅱ、国際政治学、国際協力
比較政治・政治史、英連邦と国際社会
南北アメリカ国際関係

E 市民社会・地域社会

コミュニティ通訳論、地域と国家
現代民主主義論、メディアと人権
ジェンダー論、都市・地域再生論
NPO・NGO論、地域社会論

F アジア・新興国

アジア・新興国論、日本経済と新興国
ロシア研究、アフリカ研究
東南アジア社会研究、アジア文化研究
アジア政治経済研究
中東・イスラーム圏研究

多言語学習センター

iCoToBa



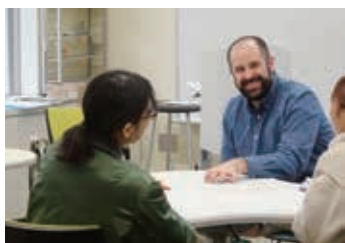
iCoToBa (あいことば) は、本学の学生が自由に使える外国語学習支援スペースです。グローバルキャンパスの中核となる、学びと交流のための「場」として作られました。iCoToBaでは、学生が中心となって、外国語や異文化に親しむためのイベントが開催されています。あなたもiCoToBaでグローバル・コミュニティの仲間に入りませんか。

iCoToBaでは、英語を中心として、ネイティブによる実践的な授業が行われています(English Conversation、Project Work English、English Presentation、English Discussionなど)。英語以外の外国語についても、「留学前準備講座」「地域コミュニティ言語講座」として、ニーズに合わせた内容の授業が多言語で開かれています。さらに、TOEICを始めとする各種検定試験の対策講座も行われています。



iContact

外国人教員による予約制の個別&グループアドバイス時間を設定し、発音指導や会話練習など、ニーズに応じた指導をしています。予約なしで参加できる留学生とのiContactもあります。



iContact

グローバルセミナー

県大や芸大の教員・外部識者らが、国内外のグローバルな文脈における研究や実践活動について紹介するランチョンセミナーです(隔週水曜日に開催)。学部や専門性を超えて、カジュアルにディスカッションできる1回完結型の内容となっています。



グローバルセミナー

留学報告会

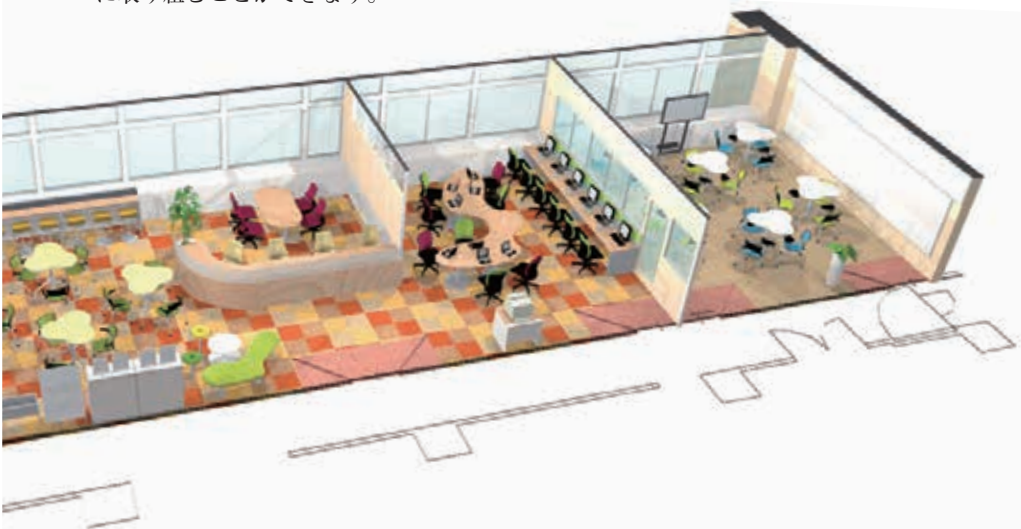
毎週1回ランチタイムに、留学した先輩の経験談を聞く報告会です。

Self-Study Space

コンピューターを使って、自主学习や遠隔授業に取り組むことができます。



留学報告会



留学生とのイベント

学生の自主的な企画によって、さまざまなイベントが運営されています。その中心となっているのが、iCoToBa Supporters Club (ISC) です。仲間とともにイベントをつくりあげる経験は、貴重な学びにつながっています。



異文化交流(ふるしき体験)

地域でのボランティア

地域のグローバル・イベントの情報紹介や、ボランティア募集なども行っています。国際学会での会場案内ボランティアなどで、実践的な力を身につけることができます。



地域ボランティア(伊勢志摩サミット)

大学院国際文化研究科

Graduate School of International Cultural Studies

学部から大学院へ

本学の外国語学部を卒業し、さらに研究を深めることを志す学生は、大学院国際文化研究科に進学することができます。国際文化研究科は、外国語学部と日本文化学部を基礎とする大学院で、国際文化専攻と日本文化専攻から成り立っています。いずれの専攻も、博士前期課程と博士後期課程を有します。

国際文化専攻の博士前期課程では、最終成果として、学術の理論や体系の向上をめざす修士論文のほか、政策提案、教授法の開発、外国語資料の翻訳・解説など、学術の利用価値向上に重点を置く特定課題研究成果に取り組むことが可能です。博士後期課程では、大学・研究所で教育研究に携わる教職員、官公庁・企業等で活躍する専門職業人など、国際社会の第一線で活躍できる人材の養成をめざしています。

大学院国際文化研究科に進学するには、秋季と春季の2回実施される大学院入試を受験する必要がありますが、成績優秀者に対する学内推薦制度も設けています。

大学院ダブル・ディグリー制度

本学は、台湾の静宜大学との間で博士前期課程のダブル・ディグリー協定を結んでいます。国際文化専攻の希望学生は、静宜大学に留学し、両大学に修士論文を提出することで、本学の修士学位と併せて、静宜大学の台湾文学修士または中国文学修士の学位を得ることができます。

また、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステラ大学との間では、博士後期課程のダブル・ディグリー協定を結んでいます（2023年3月現在、協定更新協議中）。国際文化専攻・日本文化専攻とも、希望学生は、両大学から研究指導を受け、博士論文の内容等に関する所定の要件を満たすことで、両大学の学位認定を受けることができます。

大学院国際文化研究科国際文化専攻には、英語高度専門職業人コースとコミュニティ通訳学コースを設置しています。

英語高度専門職業人コース

概要

- ①国際社会(=多言語文化共生社会)における多様なコミュニケーション環境を生き抜くための「言語知識」と「言語運用能力」を強化すると同時に、実際の言語使用をサポートする理論的基盤「国際文化学」を修める。
- ②コミュニケーションの現場における問題解決能力を開発・発展・深化させる。

目標

- ①英語を使うプロフェッショナルになるために必要な高度な英語力を身につける。
 - ▶EGP(English for General Purposes)：修了時に TOEIC950点超え/英検1級取得を目標
 - ▶ESP(English for Specific Purposes)：通訳 Interpreting/翻訳 Translation 能力の向上を目標
- ②イギリス、アメリカなどの英語圏についての言語文化・社会文化に関する知識を身につける。
- ③英語そのものについての専門的な知識を身につける。▶EAP(English for Academic Purposes)

特徴

- ①実際の国際社会におけるコミュニケーションに直結する(役に立つ)語学演習科目を多く開講 ▶ネイティブ教員による「英語表現演習」「国際コミュニケーション」
- ②個別指導を徹底して、Quality の高い実務型授業を実施し、言語知識と言語運用能力の向上を確かなものに ▶「通訳演習(英・日)」「翻訳演習(英・日)」
- ③在職のまま就学する社会人や現職の高校教員等に無理のないように、通常の履修計画で、専修免許(英語)の取得が自動的に可能となる質の高いカリキュラム構成を実現



コミュニティ通訳学コース

コミュニティ通訳学コース（2022年度開始）は、医療、司法、教育、行政、福祉等の領域で外国籍住民等を言語面から支援するコミュニティ通訳について、理論と実践の両面から研究することを目的とします。ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語を主な指導言語としつつ、その他のニーズの高い言語にも対応できるようにしています。医療、司法、教育、行政、福祉等の分野をカバーする講義・演習（実務家が一部担当）、外部機関等との連携による通訳実習、人間発達学研究科及び看護学研究科との連携科目等を含むカリキュラムを通して、専門知識を有するコミュニティ通訳者やコミュニティ通訳分野のコーディネーター・研究者を養成します。社会人学生にも配慮し、多くの科目が夜間開講（オンライン方式）や土曜日開講（名古屋駅前サテライトキャンパス）されています。



あいち医療通訳カフェ



日本の医療制度勉強会

コミュニティ通訳学コースカリキュラム表

科目群	基礎科目	コミュニティ通訳学 科目	多文化社会論 科目			専門分野他専攻 他研究科連携科目						専門 分野 関連 科目	実務 実習	研究 指導		合計			
			多言語多文化実務論	地域社会学特講	多文化社会論特講	日本法政治研究Ⅰ・Ⅱ	学校経営論特講	公共政策論特講	スクールソーシャルワーク特講	地域福祉論特講	子ども家庭福祉論特講			医療福祉論特講	地域看護学特講		国際看護学特講	国際文化特殊演習	国際文化研究
授業科目の名称	国際文化研究基礎 多文化共生論 公益通訳と社会資源	国際コミュニケーション コミュニティ通訳翻訳演習	コミュニティ通訳研究	多言語多文化実務論	地域社会学特講	多文化社会論特講	日本法政治研究Ⅰ・Ⅱ	学校経営論特講	公共政策論特講	スクールソーシャルワーク特講	地域福祉論特講	子ども家庭福祉論特講	医療福祉論特講	地域看護学特講	国際看護学特講	その他国際文化研究科開講科目	コミュニティ通訳実習	国際文化特殊演習	国際文化研究
単位数	2 2 2	4 4 4	4	4 4	4 4	4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	2 2	2	4	4	4	4	4	
必修	2 2 2	2 2 4	4							4					6	2		4	4
							30											4	34

＼ 東海地方の大学で唯一！

ポルトガル語を専攻言語として学ぶことができます！

2023年4月、「スペイン語圏専攻」が「スペイン語・ポルトガル語圏専攻」へと改編され、専攻内に「ポルトガル語圏コース」が新設されました。専攻言語としてポルトガル語を重点的に学び、ブラジルをはじめとするポルトガル語圏について知識を深めることができる大学は東海地方で愛知県立大学のみです。

入試では、専攻全体の募集定員のうちスペイン語圏コース42名程度、ポルトガル語圏コース13名程度に分けて募集します。入学後は、専攻言語科目はコース別に、それ以外の多くの科目は専攻学生（両コース）が一緒に学んでいきます。

世界のポルトガル語圏人口は約2.5億人。その最大の国は日本とも関係が深いブラジル（人口約2億2千万人）です。同国には世界最大の日系人社会（推定200万人、外務省による）が存在する一方、日本国内では約21万人のブラジル人が暮らしています。うち約12万人が東海4県（愛知、岐阜、三重、静岡）に集中し、地域社会の様々な場面でポルトガル語のニーズが高まっています。ポルトガル語圏コースでは、ブラジルをはじめとするポルトガル語圏の専門知識だけでなく、地域社会におけるブラジル人コミュニティに関する理解や言語の支援など、多言語多文化社会における課題についても学ぶことができます。

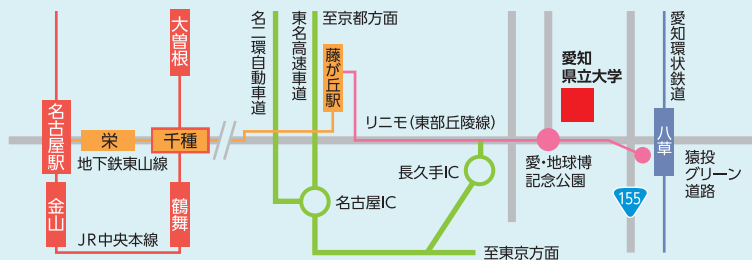


スペイン語・ポルトガル語圏専攻
ポルトガル語圏コース

Seção de Estudos Ibero-americanos



AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY



愛知県立大学
<http://www.aichi-pu.ac.jp>

〒480-1198 (個別郵便番号)
愛知県長久手市茨ヶ廻間1522番3
愛知県立大学学務課外国語学部担当
TEL 0561-76-8824 (直通) FAX 0561-64-1105

2023年4月発行